

新花巻図書館整備基本計画

資料編

令和3年 月 日

花巻市

目 次

1	としょかんワークショップ 開催結果 「みんなではなそう未来の図書館」20代・高校生	
	第1回	2
	第2回	12
2	としょかんワークショップ 開催結果 「みんなではなそう未来の図書館」一般編	
	第1回	27
	第2回	35
	第3回	49
	第4回	66
	第5回	91
3	花巻市立図書館資料収集方針	102
4	花巻市立図書館資料選定基準	104

としょかんワークショップ 20代編・高校生編 第1回 まとめ

- 日 時 2020年7月25日(土) 9:00~12:00
- 場 所 まなび学園 3階 第2・3中ホール
- テーマ 「図書館ってどんな場所？」
- 参加者 20代13名、高校生19名
- アドバイザー 富士大学教授 早川 光彦 氏
- 当日の内容

図書館整備のこれまで

はじめに、生涯学習課から花巻図書館の現状や、これまでに花巻市が行ってきた図書館整備の内容を説明しました。

現在の花巻図書館は、昭和48年に建てられたもので、今年で築47年と老朽化が進んでいます。また、閲覧スペースが2階にあり、利用しづらいことや蔵書スペースが少ないなどの課題があり、生涯学習施設として、また市街地再生の核として、新しい図書館の整備が求められてきました。



平成29年に「新花巻図書館整備基本構想」を策定し、①郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館、②すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館、③暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館、の3つの基本方針を示しました。

今年度「新花巻図書館整備基本計画」を策定するにあたり、ワークショップを開催し、みなさんと一緒に未来の図書館について話し合います。



図書館ってどんな場所？

次に、アドバイザーの早川氏より「図書館ってどんな場所？」というテーマで、話題提供をいただきました。

早川氏は宮城県仙台市出身で、川崎村立図書館（現一関市川崎図書館）にて主任司書として設立に関わり、2004年からは南相馬市立中央図書館の新設に尽力されたのち副館長として活躍されました。2014年からは富士大学経済学部の教授として教鞭をとりながら、東北地域の公共図書館の新設にも携わっています。

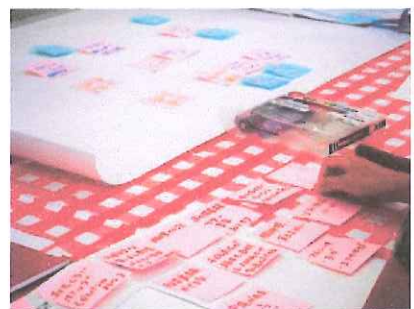
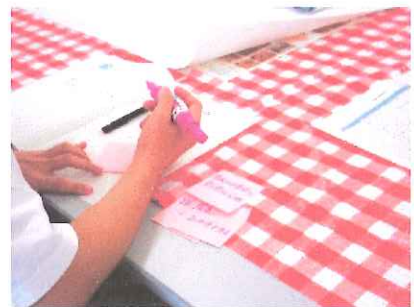


早川氏からは、ご自身が携わってきた公共図書館のエピソードや写真をもとに、人々の生活全般を支援する場としての図書館について、ご紹介いただきました。本の貸し出しだけでなく、人が集まることで情報が集まり、コミュニティが生まれ人と人がつながる、「本のある広場」としての図書館の役割をお話しいただき、これから新しい図書館を考えるうえで大切にしたい観点を共有することができました。

こんな図書館がほしい！

その後「こんな図書館がほしい！」というテーマで60分のワークショップを行いました。早川氏からの話題提供を受けて、自分は、そして私たちはどんな図書館がほしいかアイデアを出し合いました。

まずは自分で考えたアイデアを、付せんにとんどん書き込んでいきます。次にグループ内でそれぞれのアイデアを共有し、カテゴライズしていきます。



最後にグループごとにどんな話し合いがされたかを発表しました。新しい図書館に求めるサービスとして、Wi-Fi環境の整備やiPadの貸し出しなど、若い世代ならではの意見や、「癒しのための小動物がいる図書館」や「足湯のある図書館」など、ユニークなアイデアも生まれました。

最後に、早川氏からの講評では、「今回の話し合いでは、お金をかけずに実現できそうなアイデアがたくさんありました。このワークショップで一番得をしたのは花巻市！これからつくる新しい図書館にはこういうものが大事、ということを若いみなさんが教えてくれました。次回も楽しみにしています」とコメントをいただきました。

次回は8月8日（土）に2回目のワークショップを開催します。今回出たアイデアを基により具体的な、そして「花巻らしい」図書館を考えていきます。

*場所 なはんプラザ COMZ ホール

*時間 9:00~12:00 (20代編)、14:00~17:00 (高校生編)

参加者のアンケートから

- ・図書館は正直に言ってマイナスなイメージだったけど、生活に必要な存在になると思った。
- ・普段なら会わなかったたくさんの人と図書館について話し合えて楽しかった。
- ・たくさん要望が出た。すなわちこれまでの図書館は問題が多かったのだと気付いた。
- ・将来やりたい事がある程度決まっているけど、図書館をつくるしごとを専門でやりたい!! と心変わりしそうなくらいおもしろかった。



1班『こんな図書館がほしい』

ジャンル

- ・ビブリオ（利用者も職員の方も）ができる
- ・あなたにオススメの本（アンケート形式のものに答え自分に向いている本を紹介してくれる）
- ・難しい（手が出しづらい）ような本だけでなく読みやすい本も同じくらいあるような場所
- ・音楽関連のものが増えても良いと思う
- ・職業ごとのコーナー
- ・若い世代の人が読みたい本やCDがある
- ・系統ごと（本、CD、DVDごとではなく系統ごとにそろえられている）
- ・パソコンで検索（自分の読みたい本）
- ・利用しやすい環境（年代別）
- ・系統ごとに明るいの所へ！

必須

- ・Wi-Fi環境があればありがたいです！

設備・環境

- ・外観的からも来たくくなるような設備
- ・明るくて開放感がある
- ・バリアフリー
- ・エレベーター
- ・様々な年代の人にも使いやすい施設
- ・誰でも行きやすい場所
- ・静かな空気ではなく明るくて話しやすい空間
- ・小さい子でも一人で来れる図書館

周辺

- ・電車からおりてすぐ
- ・駅の近く
- ・駅の近くがいい、バスも利用しやすく
- ・バス停
- ・ふくろうバスが通る（停まる）場所

スペース

- ・おしゃべりスペース、学ぶスペースをそれぞれ別々に作る！
- ・にぎやかなスペースも静かなスペースもある
- ・くつをぬいでゆっくりに本を読む場所
- ・子供が遊べる図書館
- ・お母さんもお休みしながら
- ・さわげる場所
- ・子どもたちの読み聞かせスペースがある
- ・一息つけるようなカフェがあるといい
- ・カフェみたいに飲食をしながら学べる環境
- ・飲食ができる

イヤシ

- ・近くに小動物や犬、猫がいる

スタッフ

- ・職員と利用者の間に壁がない
- ・気軽に相談できる環境へ！いじめも多い

2班『こんな図書館が欲しい!』

飲食

- ・飲食OK
- ・飲食ができる
- ・飲食ができる図書館
- ・飲食スペースがあると...
- ・お菓子飲み物を買えるスペース
- ・飲食物を販売する場所がほしい
- ・カフェとかを併設して、飲食可能、長時間利用を可能にしたい

インターネット空間

- ・インターネット空間の確保
- ・Wi-Fi
- ・Wi-Fiがあるところ

サービス

- ・オンラインサービス
(郵送による貸し出し等)
- ・気に入った本を買えるサービス
- ・オンラインサービス (読み聞かせ)

司書さん

- ・話しかけやすい優しい司書さん

<建物 (最初からどうにかしてほしい部分) >

立地

- ・近くに公園がほしい
- ・駅に近い、徒歩で行ける
- ・駅からぬれないで行ける
- ・博物館と合体している

建物

- ・木造で自然光の入る明るい場所にしたい
- ・おしゃれな建物
- ・段差が少なく手すりや案内図等が充実している
- ・広い図書館がいい
- ・明るくて閉鎖的でない図書館

部屋1

- ・一人になれる場所がほしい
- ・静かな場所と騒ぐ場所をわける
- ・一人でいたい人と会話しながらしたい人と場所を分ける

部屋2

- ・会話をしながら勉強できる学習スペースがほしい
- ・託児所のように朝あずけて他の子と遊ばせておける空間
- ・楽な姿勢で本が読める場所

<建物 (あとからでもできる部分) >

- ・検索機たくさん
- ・季節を感じられるレイアウト

本など

- ・リクエストコーナー
- ・音のなる絵本をおく
- ・いろいろな職業を知れるコーナー
- ・たくさん本とマンガ、雑誌がほしい
- ・旅行冊子、パンフレットがほしい

イベント

- ・利用者が自分のおすすめの本を紹介できる場

3班 『こんな図書館がほしい!!』

蔵書の充実

- ・洋書
- ・専門書がそろっている
- ・論文がよめる
- ・参考書（最新の）がいっぱい
- ・検定の本の貸し出し
- ・作文、小論文対策コーナー
- ・新書コーナー
- ・マンガコーナーの種類
- ・星座に関するコーナー
（プラネタリウム等々）
- ・大型絵本
- ・同じ進路の先輩のオススメ本コーナー

資料の充実

- ・はやりの曲の楽譜レンタル
- ・絵、おもちゃの貸し出し
- ・DVD、CD
- ・CDの貸し出し（ポカロとかも）

Wi-Fi

- ・Wi-Fiの設置
- ・Wi-Fi設置
- ・Wi-Fi環境

飲食

- ・スタバ（オシヤレ） 飲食可
- ・飲食スペース
- ・飲食OK

アクセス

- ・学校からのバス交通
- ・駅周辺

癒し

- ・職員自身が雑談したりわいわい♪
- ・本だけでなくいやしも 植物とか？
- ・植物
- ・動物（小） 魚、鳥

目的別の部屋

- ・みんなでわいわいさわる場所
- ・みんなでガヤガヤ部屋
- ・グループで使える部屋
- ・雑談できる部屋
- ・親子で広々使える
- ・カフェ
- ・テラス席
- ・テラス席
- ・理科室や実験室（本を読みながら）
- ・調理室みたいな部屋
（レシピ本見ながら...料理教室）
- ・勉強ができるコーナー
- ・個室（一人で勉強、人に見られないように）
- ・個室の読書、勉強スペース
- ・自由にくつつけたり移動できる机（イス）

その他

- ・高校生、大学生、大人がボランティアで常についてくれて、勉強を教えてくれたり相談に乗ってくれたりする

4班『こんな図書館がほしい!』

施設 (必要なもの)

- ・Wi-Fi
- ・Free Wi-Fiが欲しい!!
- ・スロープやエレベーター (足腰の負担へらす)
- ・テラス席で飲食やゲーム、読書、勉強
- ・複数人でいられる、話せる場所
- ・個人スペースや個室 (静かな自分だけの場所)
- ・個人室、集団室が欲しい!!
- ・大きな部屋を区切って、個人スペースが欲しい!
- ・コンセントが欲しい
- ・トイレがキレイ
- ・子供の遊べるスペース
- ・本を検索するパソコンがほしい

立地

- ・学校帰りに寄れる
- ・自力で行ける場所

- ・木造

<建物>

施設 (あったらいいな)

- ・貸しロッカー (長期)
- ・足湯
- ・大きい窓、てんじょう窓
- ・和室と洋室がどちらも欲しい
- ・外国から来た方が日本の文化に触れられる機会
- ・飲食OK!
- ・運動不足解消
- ・堂々と寝られるスペース

<サービス>

資料

- ・BAさん常駐
- ・iPad貸してほしい
- ・流行の小説やコミックを取り入れる (reason:これこそ20代、10代若い世代が利用)
- ・カウンセラーを取り入れる (ひとことスペースの悩み相談から)
- ・プレゼンテーションの練習の場を作りたい!!
- ・映画をスクリーンで見たい!
- ・鑑賞会がしたい
- ・ジャンル別に分けて、見やすく見つけやすくする (本、CD、DVD等)
- ・CD、DVDがそろっている (古い物から新しいもの)

コンセプト

- ・待ち合わせの場所
- ・友達づくりの場
- ・ブラウジングが楽しい
- ・ギャルが来る図書館
- ・図書館内で音楽を流す (足音だけでなく息をするほど静かなのは...)
- ・POPなどの本の紹介がまとめられたコーナー
- ・開館時間が長い
- ・参加型イベント

6班『ぷらっととしょかん』

フンイキ

- ・ふらっと行ける ・キレイ
- ・朝も、仕事終わりも寄れる (開館時間)
- ・足音が響かない ・緑 (植物)
- ・植物園
- ・小鳥が集まる庭、植物園、バードウォッチング

たてもの

- ・近代的 ・未来的
- ・木造 (県産材など) ・古い建物の魅力

- ・でも広すぎると
疲れちゃうかな
- ・閲覧スペースを
〇〇m置きに設置

世代

- ・若者と高齢者のお互いが
気持ちいい
- ・幼児が遊べる空間
- ・子どもがくつろげる

リラックス

- ・温泉
- ・テラス席 (日なたぼっこできるような)
- ・岩盤浴 ・スーパーセントウ
- ・明るい (日ざし) ・昼寝ができる
- ・たたみコーナー ・リクライニング席
- ・寝ころがってマンガ

飲食

- ・カフェ
- ・イートインスペース
- ・飲食OK
- ・飲食スペース カフェとかも!
- ・カフェテラス
- ・食堂

キップの券売機

発信

- ・交流掲示板
- ・利用しただれかのおすすめ
コーナー
- ・市内のおいしい食べ物が
わかる!
- ・開店情報 ・HPの充実

IoT

- ・Wi-Fi
- ・Wi-Fi
- ・3Dプリンター
- ・デジタル機器 ネット環境

トイレ

- ・明るくて
キレイな
トイレ

音楽

- ・としょかんをライブハウスに
音楽スタジオ (練習、録音)

- ・アウトプット (展示できる)

資料

- ・ゲーム機 (みんなで島を
開拓する会とか)
- ・本以外も借りれる
・勉強も遊びも
(インドア・アウトドア)
- ・最新刊がある
・資料が豊富
(調べものができる)
- ・難しそうだけど...何か読め
そうな気になるそんな棚

7班『理想の図書館』

飲食

- ・最新の情報ブースある
- ・カフェ
- ・飲食できる
- ・飲食ができるエリア

過ごしやすさ

- ・ガラス張り
- ・色味が明るい建物
- ・BGMを流す
- ・明るい空間
- ・明るい自習室

外観

- ・清潔なトイレを完備
- ・駐車場、駐輪場の整備
- ・広めの駐車場
- ・子どもの遊びスペース
- ・公園が欲しい
- ・ピアノ巨大な

要望

- ・マンガも多く置いてほしい
- ・定期的に新しい本の入れ替え
- ・市の紹介ブースがある
- ・資格の本
- ・パソコン貸し出しあり
- ・座席にコンセントがある
- ・Wi-Fi (自分のパソコンが使えるように)

スペース

- ・休憩スペースの完備
- ・座席数が多い
- ・話ができるスペース
- ・話しながらブース、集中ブース用途別に利用できる
- ・座席数が多い
- ・静かな場所とにぎやかな場所と両方ほしい

その他

- ・学校や仕事帰りに立ち寄れる立地
- ・夜遅くまでやっている
- ・観光地になるような図書館

8班『それぞれのお気に入りの場所～また行ってみたい図書館～』

空間

- ・多目的な貸し出し部屋がある
(音楽、ダンスなど練習)
- ・アロマ♡がある空間
- ・静かな部屋と騒げる部屋は両方ほしい
- ・大声で話せる笑えるスペース
- ・にぎやかであれ (防音室・個室等を設ければ?)

利便性

- ・寝ながら本が読める
- ・図書の配達 (ポスト返却) ・気軽に使える
- ・インターネットだけでなく色々なPCソフトが導入されている (イラストレーター、フォトショップ)
- ・マッサージスペース

サービス

- ・カフェがある図書館
- ・カフェスペース

体験

- ・VR体験ルーム
- ・トレーニングもできちゃう図書館
- ・各スペースの側に関連する本が置いてある
- ・トレーニングできちゃう図書館
- ・ストレッチ、ヨガ、エクササイズ
- ・料理スタジオ

子ども

- ・0歳から使える図書館
- ・子どもが (と) 楽しめる

外観

- ・公園広場 ・中庭がある→スポーツ、キャンプ、畑、花
- ・開放感 ・天井高い ・駅前を照らす
- ・ガラス張りの外観 ・オシャレでシンプルなデザイン
- ・おしゃれな図書館 ・外観はいいな
- ・おもしろいポップ (ビレバンのような)

スタッフ

- ・優しいスタッフ
- ・相談 恋愛♡とか!?
- ・進路相談とかにも乗ってくれる人

イベント

- ・ゲームの体験 ・イベント
- ・イベントがある図書館 ・個人がイベントしやすい
- ・わんこそば ・科学実験ができる
- ・本を題材にいろいろな体験ができる
- ・夜の図書館ツアー (星空、おとまり)
- ・子どもたちが絵本を題材に人形劇や寸劇ができる

としょかんワークショップ 20代編・高校生編 第2回 まとめ

- 日 時 2020年8月8日(土) 9:00~12:15 20代編
14:00~17:15 高校生編
- 場 所 なはんプラザ1階 COMZ ホール
- テーマ 「花巻にこんな図書館が欲しい！」
- 参加者 20代11名、高校生21名
- アドバイザー 富士大学教授 早川 光彦 氏
- 当日の内容



「こんな図書館がほしい！」その2 (前半)

7月25日(土)に開催した第1回では早川氏から主に 東北地方の図書館についてご紹介いただき、今図書館がどのように使われているのか、図書館が市民や地域にとってどのような役割を担うことができるのかを学んだあと、自分たちがほしい図書館についてグループごとにアイデアを出し合いました。

第2回は、午前中に20代編、午後に高校生編を同じプログラムで開催しました。

はじめに、前回は振り返りながら、グループでまとめたアイデアを「本・資料」「サービス」「環境・空間」「場所」の4つのカテゴリをベースに再整理を行いました。同時に、今回初めて参加した方からの新しい視点や、それを受けての発展的なアイデアもどんどん追加されていきました。

ある程度分類できた後、テーブルファシリテーター以外は席を移動し、ほかのグループではどのように整理されているか情報を共有しました。



早川氏からのアドバイス

前半終了後、休憩をはさみ早川氏からいくつかアドバイスをいただきました。

- ・重要なことは、皆さんならではの意見がたくさん出ているか、ということです。正確に分類することは重要ではありません。
- ・皆さんのアイデアを今一度振り返り、本当に毎日でも行きたい図書館になっているか、人に自慢できる図書館になっているか、考えてみてください。

こんな図書館がほしい！その2（後半）

アドバイスをもとに自分たちが分類したアイデアを再点検し、「花巻らしさ」という視点も盛り込みながら、カテゴリごとに、自分たちのグループで大切にしたいキーワードを選ぶ作業を行いました。その後、選んだキーワードを文章化したものを、新しい模造紙にまとめ、発表を行いました。



今回はたくさんのアイデアの中から取捨選択をするという難しい取り組みでしたが、相手を否定せず、多様な意見に耳を傾ける対話的な話し合いが行われていました。みなさん頭を悩ませながらも、前回以上に「自分たちがほしい図書館」についての話し合いを楽しんでいるようでした。

早川氏からの講評

最後に、早川氏から次のようにコメントをいただきました。

<20代編>

- ・今回みなさんが参加してみて、もっと話したいという人もいたのではないのでしょうか？前回は制約なく理想の図書館について語り、今回はその理想を形にしていく作業だったと思います。
- ・「花巻らしさ」については、あまり触れられないのではとの懸念がありましたが、それぞれの班からしっかり提案されていました。
- ・1班の「20代がふらっと行ける図書館」について、これは簡単なことではないですが、とても重要な指摘です。東北地方には20代や30代（特に男性）が多く出入りする図書館はかなり少ないです。

- ・2班の「図書館の存在を知ってもらう」という意見はとても大事ですね。多くの方が「図書館は重要」という認識を持った社会になれば、図書館の資料購入費を増やすことができ、みなさんが必要と考える資料も揃えることができます。
- ・3班からは「図書館で大学の論文が全部読めるようにしてほしい」という意見もありました。「花巻の図書館に行けば大学で習得するくらいの知識が手に入ります」と言えるようになれば、それは新しい図書館の大きな魅力となります。
- ・「絶対行ったほうがいい」と人にお勧めできる図書館にしていきたいと思います。



<高校生編>

- ・本日参加している図書館の職員には、今回高校生から出たアイデアを持ち帰ってほしいです。今の図書館でも工夫次第で実現できることがたくさんありました。高校生の皆さんがここまで考えている、ということを知れたのではないのでしょうか。
- ・また、みなさんは図書館のことをよく知っていて、普段から利用している、ということが伝わってきました。
- ・みなさんの力を貸していただかないと図書館はよくならないと痛感しました。それほどみなさんの発表は素晴らしかったです。
- ・「レベルの高い司書」という指摘がありました。が、「隣のまちにはレベルの高い司書がいるのに花巻にはいないのか？」と言われたいです。みなさんが誇りに思える図書館になればいいと思います。
- ・「書庫に行きやすい」ということは、今の図書館でもすぐにできること。ぜひ実現してほしいです。
- ・これからもみなさんの声を図書館に届けてください。施設だけ新しくても使いづらい図書館になってしまわないよう、今後も力を貸してください。



参加者のアンケートから

- ・1回目より質の高い（色々な意見が出た）ワークショップとなりました。

- ・非現実的な考えも出し合って夢の図書館を考えることができた。
- ・自分たちの考えが反映されるようなワークショップだったと思う。色々な考え、視点があっても勉強になったし、楽しかった！完成した新図書館に行くのが楽しみ😊

今後のとしょかんワークショップについて

20代編・高校生編はこれで終了となりますが、8月23日（日）からは一般編がスタートします。今回は参加者がリラックスしてアイデアを出し合えるよう、世代を限定したワークショップでしたが、一般編では世代関係なく、今回参加した若者世代も含め、花巻市の新しい図書館について話し合います。



20代・高校生編第2回で新しく追加されたアイデア

班	内容
20代 1班	・読み聞かせタイム
	・子どもと行ける場所
	・子どもたちがのびのび遊べるスペース
	・SNS、ネットを活用した宣伝
	・ネット時代において図書館じゃなきゃ知れないこと
	・アクセスの充実（シャトルバス、公共交通機関の充実）
	・駅に近い（交通の便が良い）
	・本が読める+色々なことができる（ご飯、ごろごろマンガ）
	・主婦が日中に使える
	・点字マット、資料、音声
	・バリアフリー空間
	・館内までの点字ブロック
	・地形（坂とか…）
20代 2班	・わかりやすい場所にする
	・電子版の導入
	・まち、情報掲示板
	・ビジネス本定期導入
	・各ランキング資料（定期）
	・市、県、国など各エリアでのさまざまな統計資料
	・就活応援コーナー
	・図書館の存在をもっと知ってもらえる周知方法
	・なんでも書ける掲示板
	・個別のビデオシアター用スペース
	・AVブース DVD、CD見れる
	・デザイン花巻、地元の
	・夜お酒飲みながら本読める
	・打ち合わせのできる時間帯を設ける
	・盛岡のTSUTAYAみたいな
	・飲食ができるスペース
	・カードやスマホで入場するシステム
	・年齢層でわけるスペース、混合スペース
	・フラット（1階）
	・親子むけイベント
・自由研究ができる部屋	
・読書相談	
20代 3班	・掲示板がある
	・就活支援
	・夜まで使える

班	内容
20代 3班	・花巻祭りの資料
	・就活に関する資料
	・大学のパンフレット
	・雑誌
	・電子新聞や雑誌、本→持ち帰りたいとなったら取り寄せ
	・全国の大学の論文
	・公共交通機関が使いやすい
	・徒歩で行きやすい
	・子育て世代の交流ができる
	・フリースペース（勉強でも、ごはんでも）
	・学習スペース
	・飲食ができる
	・バリアフリー
	・屋上庭園
高校生 1班	・駐車場が広い
高校生 2班	・資格、検定についての本
	・借りたいCDを視聴できる空間
高校生 3班	・花巻祭りなどが味わえる映像
高校生 4班	・若い人向けファッション誌
	・おもちゃ
	・動物ふれあい
	・託児スタッフ
	・おしゃカフェ
	・駐輪場
	・ステンドグラス
	・利用者の人が撮った花巻の風景を飾る
	・ジム併設
	高校生 5班
・本を寄付	
・花巻の偉人の資料館があるといい	
・授業ができる（図書館の本を使って）	
・2棟にして1棟は子ども用（騒げる、防音）1棟は大人用（自習、静かに）	
・ある一部の場所だけでいいから小さい音量で音楽を流させてほしい（オルゴール風だったらいいな）	
・遊べる場所がある図書館	
・変な人が来ない	
・貸出禁止の本を無くしてほしい	
・個室が欲しい！	

班	内容
高校生 5班	・階段をのぼりやすくしてほしい
	・自立した図書館
	・支館を学校の近くに
	・コンビニがある
	・文房具店があるといいな
	・子どもが喜んでいくようなイベント
	・ネットのほうで活躍している人の画集もおいてほしい
	・図書館にラノベが欲しい
	・本を学習スペースに借りなくても持っていける。その本を棚等に返して、閉館後学習スペースを夜8時まで 開けて欲しい（できれば夜9時）（危なくない時間）
	・人の支えになれる司書
	・児童書コーナーはキッズスペース（職員、親等）
	・新書コーナーを作る
	・書庫に行きやすい
	・一人でも行きやすい（小学生でも）
	・過去の新聞を見やすくしてほしい
	・図書館のすぐ近くに自転車置き場
	・PCが使いやすい環境
	・図書館の建物に「木」が使われてほしい
	・トイレがすべて洋式であってほしい（きれいだったらな…）
	・絵本（日本だけじゃなく）
	・機材の貸し出し！
	・楽器
	・プログラミング教室（お試しでも）
	・日替わり温泉！（今週はどこ湯？）
	・子育て世代が働きながら学べる場
	・利用者カード
	・もっと使いたい人のためのカード、アプリ（閲覧履歴などが見れる）
	・電子版の導入+閲覧用機器の貸し出し
・リクエストしやすい	
・広場スペース（中と外）	
・イベント	
・頭だけではなく体にもいいフィットネス	

20代 1班 ふらっととしょかん

(ふらっとと行ける、フラワー)

場所

- ・駅が近くて交通の便が良い
- ・いつでも行ける開館時間

環境・空間

- ・カフェがある空間
(花巻の地元密着)
- ・明るくてキレイな空間
- ・緑のある空間
- ・うっかり眠れる空間
- ・子どもとのびのびできる空間

サービス

- ・Wi-Fi環境完備!!
- ・ホームページ、SNSが楽しい

本・資料

●資料が豊富

- ・最新巻が必ず入っている
- ・電子書籍、閲覧用機器
- ・世界中の絵本がある
- ・本以外の資料もたくさん!
音楽スタジオ、楽器、機材も貸し出せる
- ・3Dプリンターと専門家
- ・デジタル機器、ゲーム機
- ・温泉も地域の資料

リクエストしやすい!

20代 2班 いーはとーぶライブラリー

???

- ・図書館の存在をもっと知ってもらえる周知方法

サービス

- ・図書館サービス (PC貸出、Wi-Fi完備、ゲーム・マンガ貸出) (親子むけイベント、自由研究ができる、体験講座)
- ・利用時間の充実 (打ち合わせ時間、夜遅くまで)
- ・IoTの充実 (IC活用の管理システム)

本・資料

- ・すべてのジャンル、すべての世代に合わせた本 (マンガ、就活、ビジネス、資格)
- ・最新情報

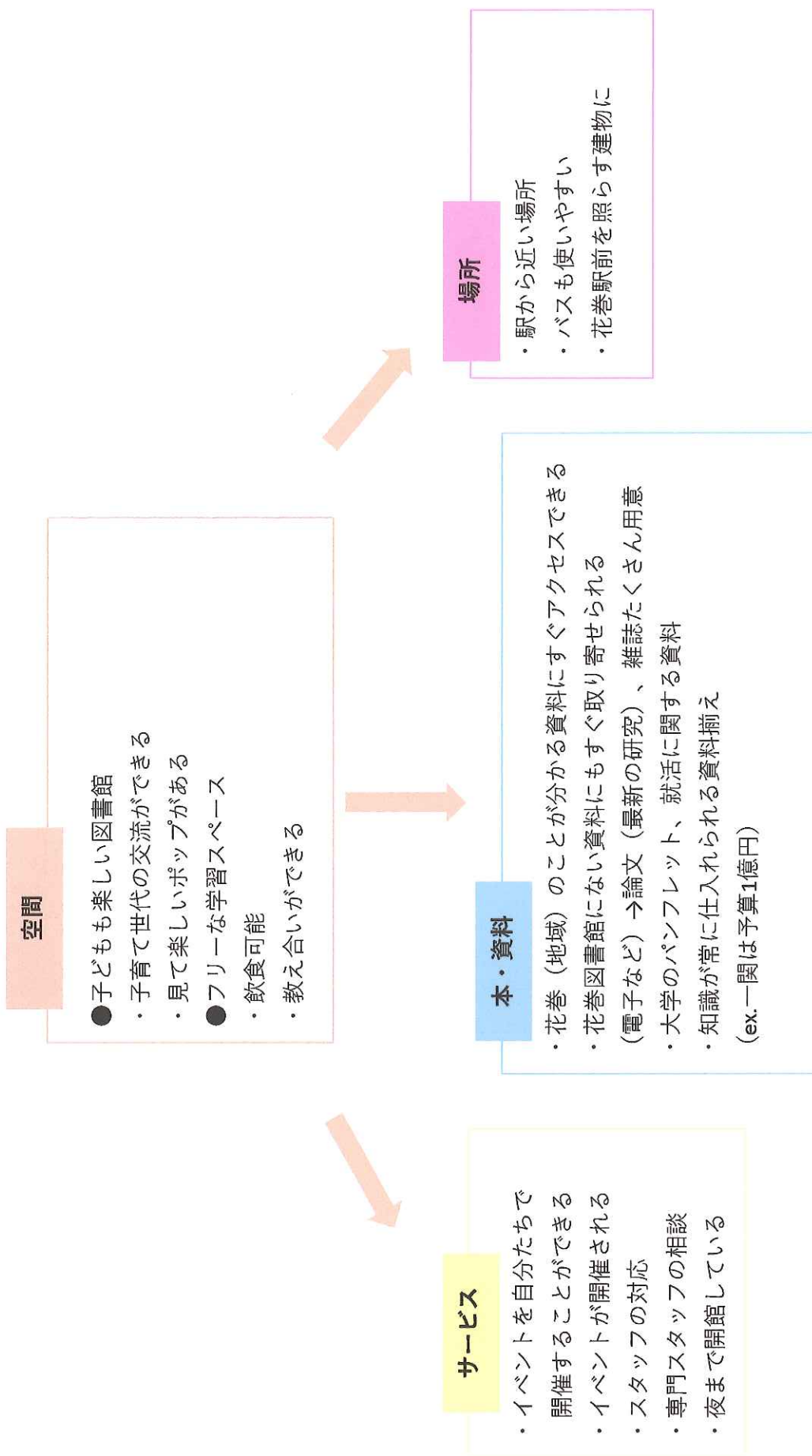
場所

- ・わかりやすく気軽に立ち寄れる (イトーヨーカートのような立地のところ)

環境・空間

- ・多種多様な空間 (集中、飲食、会話、リラックス、子供)
- ・BGMが流れる光が差し込む明るい空間
- ・多種多様な使用方法 (座席数が多い、コンセントがある、子供が遊べる、寝ながら利用)
- ・カフェ、飲食店併設
- ・広めの駐車場、駐輪場
- ・花巻地元の人とコラボしたデザイン

20代 3班 それぞれのお気に入り場所～また行ってみたい図書館～



高校生 1班 ぎんが図書館

場所

- ・ 駅の近く
- ・ 駐輪場が近い
駐車場が広い

親切

- ・ バリアフリーで様々な人が使いやすい
- ・ 職員に相談しやすい
- ・ 動物にふれあえる

必須

- ・ Wi-Fi環境
- ・ 行きたくなくなるような外観
- ・ 飲食可能
- ・ ユニバーサルデザイン

環境・空間

- ・ 静かな空間と明るく話しやすい空間
- ・ くつをぬいで大人も子供もゆったりできる場所

本・資料

- ・ 若い世代の人が読みたい本・CDがある
- ・ 系統ごとに専門的なコーナー

サービス

- 1 図書館保育園
- 2 一息つけるカフェ
- 3 パソコン検索であなたにオススメの本

高校生 2班 気軽に学校以外でもみんなと集まりやすい図書館

本・資料

- ・たくさん本が欲しい
(マンガ、雑誌、資格・検定、職業など)
☆見たくてもないものをリクエストできる

サービス

- ・オンラインサービスの充実
(郵送による貸出、読み聞かせ)
- ・電子図書
- ・話しかけやすい司書さんがいる
- ・図書館と提携した本屋さん

長時間利用

- ・飲食ができる
(買うスペースがある、
カフェの併設)
- ・Wi-Fi環境がある
(課題や調べ学習がしやすい)
- ・託児のスペースがある

環境・空間

- ・開放的で明るい空間
- ・段差が少なく手すりや案内図等が
充実している
- ・一人でのいるスペースと
会話できるスペース
- ・楽な姿勢で本が読めるスペース

場所

- ・図書館の周りが充実している
(駅に近くて公園や博物館も近くにある)

高校生 3班 わくわく！図書館

本・資料

- ・ 専門書、新書の充実
- ・ 論文が読める (本)
- ・ 楽譜のレンタル

サービス

- ・ Wi-Fiの設置
→ 論文を調べれる (PC)
- ・ 動物とふれあい体験
- ・ 飲食OK

環境

- ・ Wi-Fiの設置
- ・ 動植物を見れる

空間

- ・ 理科室と調理室がある
- ・ 親子で広々使える部屋
→ 例) 花巻祭りの映像も見れる！
- ・ 飲食ができる空間がある (テラス席)

高校生 4班 花巻の学生に絶対必要図書館

本・資料

- ・名作から新作までまんべんなくそろっている
- ・本以外の資料 (CD、DVD、おもちゃなど...) も充実させる
- ・本以外の資料にはBA (ビューティーアドバイザー) やカウンセラーなど専門家を含む

サービス

- ・朝8時から夜20時まで開館している
- ・情報端末を貸し出す
- ・資料の分類を本屋形式にする
- ・参加型のイベントをする

環境・空間

- ・コンセント、Wi-Fi、個室などネットカフェ並みの設備
- ・何をしても良いテラス席がある
- ・スタンド、屋根付き駐輪場が400台分ある

場所

- ・電車、自転車、バスのアクセスがとても良い

高校生 5班 気軽にに行ける図書館

場所

- ・駅の近くでバスが利用できる
- ・学校の近くに支館

本・資料

- ・種類やジャンルを増やしてほしい
- ・目的の本を探しやすく
- ・貸出禁止の本をなくしてほしい
- ・書庫に行きやすい

環境・空間

- ・にぎやかなスペースとくつろげるスペースの両立
- ・様々な年代の人にも使いやすい環境
- ・木造できれいで解放感のある図書館
- ・色々なお店が入っている図書館
- ・近くに小動物や犬、猫がいる

サービス

- ・ちゃんとしたWi-Fi
- ・館内で本の持ち運びができる
- ・イベントスペースがある
- ・〇〇コーナー系の部類をつくってほしい

人

- ・気軽に相談できて人の支えになれる司書

としょかんワークショップ 一般編第1回 まとめ

- 日 時 2020年8月23日(日) 9:00~13:00
- 場 所 花巻図書館、東和図書館
- テーマ 「みんなでとしょかんに行ってみよう！」
- 参加者 21名
- アドバイザー 富士大学教授 早川 光彦 氏
- 当日の内容

図書館ワークショップについて

はじめに、生涯学習課から図書館整備の必要性やワークショップ開催の趣旨を説明しました。花巻図書館は昭和48年に建設され、今年で47年が経過し老朽化が進んでいます。また、閲覧スペースが2階にあります。エレベーターがなくバリアフリーに対応していないことや、書庫などのスペースも不足しているなどの課題が多くあります。今年度は基本計画の策定に向けて進んでいきますが、改めて市民の皆さんのご意見を聞くべきと考え、ワークショップの開催に至りました。7月~8月には20代・高校生を対象に新しい図書館について話し合いをしてもらいました。今回は一般編というところで、世代を限定せず多様な皆さまにお集まりいただき、新しい図書館についてご意見やアイデアをいただきながら、新しい図書館の具体化を図ります。

図書館見学

まずは図書館の現状を見て知ってもらうため、花巻図書館と東和図書館を見学しました。

<花巻図書館について>

- 1階会議室
 - ・映画会やおはなし会などを月に3~4回開催。
- 入口~1階全般
 - ・感染症対策のため、入口に体温測定器を設置。
 - ・学習室と新聞室は感染症対策のため座席を減らし、現在は有事に連絡が取れるよう、名前と電話番号を記入していただいている。
 - ・バリアフリーコーナーとして受付を設置。エレベーターがないため、インターホンを設置し、職員を呼び出せるようになっている。
- 階段昇降機
 - ・階段の上り下りが困難な方のために昇降機を設置。安全性には問題がないものの、初めて利用する方は恐いと感じる方もいる。

●資料室（視聴覚ライブラリー資料保管室）

- ・視聴覚ライブラリーは団体向けに全部で 1,175 本の DVD やビデオなどの資料を貸し出している。
- ・官報など行政資料も置いている。

●郷土資料室

- ・宮沢賢治や高村光太郎などに関する資料や歴史書や郷土史など約 12,500 冊保存。
- ・1 冊しかない資料は館内での閲覧とし、2 冊以上ある資料は貸出可能としている。
- ・賢治記念館等に観光でいらっしゃった方が立ち寄って利用することも多々ある。

●新聞資料室

- ・新聞 12 紙を保管している。
- ・新聞閲覧室は換気が悪いため、現在は 2 階の閲覧コーナーで閲覧してもらっている。
- ・スペースが狭いため、今後新聞の保管方法について検討する必要がある。

●こども室

- ・絵本を中心に、18,000 冊が並ぶ。
- ・カーペットのスペースがあるので、常時だと親子で座って読み聞かせをしている様子が見られる。
- ・感染症対策で利用者が自由に使える除菌ボックスを新たに設置。（普段から返却された本は除菌剤を使用して拭いてから棚に戻しているが、気になる方は除菌ボックスを使用できる。）

●図書閲覧スペース

- ・配架は日本十進分類法に則って分類している。
- ・書棚が足りなくなっている部分は簡易的な書架で補っている。

●閉架書庫

- ・約 50,000 冊を保管。
- ・学校やボランティア団体に貸す本もここに保管している。
- ・書庫 1 階はカウンターに声をかけて中に入ることができる。

<東和図書館について>

●全体について

- ・平成 17 年 12 月に開館し、平成 18 年 1 月に合併したため、1 か月間だけ旧東和町の図書館として開館。
- ・東和町の目指す図書館像として「開かれた滞在型図書館」「町の情報拠点」「町の顔をもった図書館」をイメージして建てられた。
- ・喫茶を含んだ複合施設。全体で 1,389 m²。
- ・書架も木製で、全体的に木の温もりを感じられる落ち着いた雰囲気になっている。

- ・天井が高く、書架と書架の間も人が両側に立っても車いすが通れる広さを取っており、書架の高さも低いので広さを感じられるつくり。
- ・配架は日本十進分類法を基本とし、子どもの様子を見ながら料理の本を選んだりしやすいよう、料理の本や子育ての本を児童コーナー側に配置している。

●児童コーナー

- ・全体の約3分の1を児童コーナーに充てており、子育て世代から好評。

●ヤングアダルトコーナー

- ・その世代それぞれの興味や能力に合わせて資料を選べるよう、児童と一般の間に設置。

●新着・企画コーナー

- ・文化施設連携として東和にある萬鉄五郎記念美術館の企画展等に合わせ、関連資料の展示貸し出しを行っている。
- ・閉架書庫は開放できないつくりになっているため、閉架書庫にある資料を表に出して紹介し展示貸し出しをしている。

●管理棟（元情報センター側）

- ・ギャラリースペース
展示スペースとして、一般の方に月単位で貸出を行っている。
- ・談話室
コロナ対策で利用不可としているが、夏休み期間限定で学生の学習室としている。普段は飲食可能で誰でも利用できる。
- ・視聴覚室兼会議室
約100人収容可能で大型のスクリーンを備え映画会や会合などで利用しているが、現在はコロナ対策で図書館事業のみの利用としている。
- ・喫茶
一般の方に喫茶店として貸し出して運営いただいている。

基調講演

図書館見学後、アドバイザーの早川氏より「図書館ってどんな場所？」というテーマで話題提供をいただきました。早川氏は川崎村立図書館（現一関市川崎図書館）にて主任司書として設立に関わり、2004年からは南相馬市立中央図書館の新設に尽力されたのち副館長として活躍されました。2014年からは富士大学経済学部の教授として教鞭をとりながら、東北地域の公共図書館の新設にも携わっています。

早川氏には、図書館法や国内外の図書館の事例を紹介いただき、公共図書館がどのような役割を担っているのか、本の貸し出しにとどまらない様々な機能を学びました。本のある広場として、刺

激的で楽しい場所として、一人ひとりが持つ可能性を引き出す場所として…今、図書館がどう使われているのか話題提供をしていただいたことで、これから新しい図書館を考えるためのヒントを共有することができました。

* 早川氏の講演メモは最後に掲載しています。5 ページ以降をご覧ください。

参加者のアンケートから

●図書館見学について

- ・花巻図書館のバリアフリー化はやはり必須だと感じました。
- ・花巻、東和、各図書館の違いが良く分かった。設立のコンセプトが違うことから、単純に比べることはできないが、2館の様子から具体的に図書館の姿を想像することができた。
- ・花巻の図書館、2Fの蔵書コーナーに「岩手の温泉 おすすめの宿 平成17年版」があった。これでは図書館が面白くない。古いのは建物だけにしてほしい。

●基調講演について

- ・図書館の既存のイメージと、これから利用したい図書館のイメージをつなぐ貴重なお話でした。花巻市民としてほしい図書館、利用しやすいのイメージが広がりました。
- ・ワクワクするような図書館の紹介があり、今後のワークショップが楽しみです。
- ・早川先生の講義は、これから「こんな図書館がほしい」と大きな声で言ってもいいんだと勇気づけられました。

次回の内容

日時 令和2年9月13日(日) 9:00~12:15

場所 なはんプラザ COMZ ホール

テーマ 『みんなでおさらい基本構想』

図書館整備の経緯をおさらいし、ワールドカフェ形式で図書館で「やってみたい」ことや「やれる」こと「求められている」ことなどを話し合います。



講演メモ

<はじめに>

- ・図書館をつくることは、花巻でも50年に一度あるかないかの一大プロジェクト。「経験したことがない」「わからない」は当たり前。今日お集まりの皆さん、図書館に関心のある方、そして市役所と一緒に学び合って理想の図書館を目指していくことが重要。
- ・これまでの日本の図書館のイメージは、暗い、役所くさい、センスが悪い、使いづらい、生活に必要なでない、一部の本好きが行く場所…などなど。1990年代以降から新しい印象の図書館ができた。
- ・図書館が成り立つ要素＝人（スタッフ）、資料、建物＋利用者。図書館は誰でも使える場所。
- ・印象的な職員の言葉（旧川崎村立図書館）
「情報の過疎地からの脱却がありえなければ人口の過疎からの脱却はありえない」
「人と人が集まるところに知識と情報が集まって、知識と情報が集まるところに、人が集まる」

<図書館法から考える目指すべき姿>

- ・図書館法第二条「一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で（以下略）」→図書館は自分の「楽しい」「おもしろい」という感覚を掘り下げていくと、自然な形で知的な場所に連れて行ってくれる場所。
- ・図書館法第三条「図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望にそい、更に学校教育を援助し得るように留意し（以下略）」→花巻の土地の事情（例えば年齢構成や産業構造など）を考慮して、花巻の人が読みたい本、必要な情報がそろった図書館をつくる。
- ・図書館法第十条「公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない」→図書館は自治に立脚している。

<図書館ってどんな場所？一写真で見る公共図書館の姿一>

●南相馬市立図書



▲図書館の広場でアートサーカス



▲テラス読書席で勉強



▲将棋をする子どもたち



▲新しいCD・DVDのコーナー



▲観光パンフレット



▲1階の開架フロア

- ・図書館は「本のある広場」とも言われる。
- ・図書館を考える際は、可能性を限定しないで考えることが重要。
- ・としょかんのTOMO みなみそうま（図書館について学びあい、協力的活動を行う団体）は200人以上の会員で組織されている。要望を市へ伝えたり、図書館にお花を活けてくれたり様々な活動を行っている。
- ・南相馬は紙の資料とデジタル資料のハイブリットを目指している。
- ・本だけでなく、ぬいぐるみや絵も貸出。
- ・本を読む以外にも将棋をしたり、ゲームをしたり、おしゃべりをしたり、勉強をしたりと様々な使い方をされている。
- ・ティーンズコーナーには一言カードの掲示板があり、カードに書かれた質問に対して、必ず支所が答えるという仕組みで、若者と司書のコミュニケーションツールとなっている。
- ・カフェは福祉団体に運営を呼びかけ、ハンディをもつ人が働いている。
- ・旅と地図のコーナーでは、全国の観光パンフレットと海外20カ国の観光パンフレットがそろっている。

●一関市立川崎図書館（旧川崎村立図書館）



▲外観



▲絵本コーナー



▲ぬいぐるみも借りられる

- ・一関は本の貸出冊数に制限がない。
- ・子どものサービスにとっても力を入れている。
- ・東和図書館と同じくらいの広さ。

●紫波町図書館

- ・スタッフが鍛えられているので、子どもへの対応も徹底している。
- ・評価され、期待されている図書館には必ず理由がある。逆に住民に相手にされていない図書館にも理由がある。
- ・たくさんの人に使われる図書館は、様々な年代の方が万遍なく訪れる。0歳児から高齢の方まで。その方達がそれぞれの目的を達成できるか、自分のお気に入りの場所を見つけられるかが大事。

●一関市立花泉図書館



▲お酒の企画展示



▲楽しそうな利用者と職員

- ・地元のお酒について展示がされており、本と一緒に酒瓶も飾るなど工夫されている。この図書館、何かあるな、おもしろそうと思わせることが大事。
- ・図書館は成長する有機体。住民の要求と社会的要求両方をとらえているか。社会の変化に敏感に反応しているか。
- ・利用者が楽しいと職員も楽しい。

●白河市立図書館



▲2011年7月オープン



▲新聞・雑誌・児童コーナー



▲ヴァーチャルリアリティー本棚

- ・近くに行くことがあれば、必見の図書館。司書の教育がしっかりとされておりプロフェッショナルな仕事が見られる。
- ・新刊の棚も様々な情報を基に選び抜かれている。
- ・大学図書館並みの資料ぞろえ。
- ・特にコミックには力を入れている。

●大崎市立図書館



▲日本最大級のティーンズコーナー



▲図書館という日常

- ・ 2階は全てティーンズコーナー。
- ・ 中高生と一緒につくっている本棚がある。
- ・ 図書館は日常。
- ・ 図書館が家族同士の絆も強める。

としょかんワークショップ 一般編 第2回 まとめ

- 日 時 2020年9月13日(日) 9:15~13:00
- 場 所 なはんプラザ COMZ ホール
- テーマ 「みんなでおさらい基本構想」
- 参加者 20名
- アドバイザー 富士大学教授 早川 光彦 氏
- 当日の内容

新花巻図書館整備基本構想について

第2回では、はじめに「新花巻図書館整備基本構想」について大きく3つの点を生涯学習課から説明しました。1つ目は平成23年から現在までの新花巻図書館整備の経緯について、2つ目は平成24年に提出された花巻図書館への提言について、3つ目は平成29年に策定した新花巻図書館整備基本構想についてです。

<内容>

新花巻図書館の整備は、平成23年12月に「図書館整備市民懇話会」を設置したところから始まりました。市民懇話会は「(仮称)花巻図書館建設基本計画」を策定するにあたり、花巻図書館の機能及び将来の在り方について広く市民の意見や考え方を反映する目的で設置されました。公共的団体や図書館関係者、公募による参加者15名がワークショップを重ね、コンセプトやキャッチフレーズ、求めるサービスや機能等をまとめた「花巻図書館への提言」が平成24年10月に市長へ提出されました。

平成25年5月に市は「花巻中央図書館基本計画」を策定し、整備候補地を花巻厚生病院跡地と明記していましたが、平成26年3月に建設予定地から土壌汚染が公表されたことで図書館整備は一時中断となりました。

その後、平成28年に「花巻図書館への提言」に基づいた図書館整備に関する構想を再構築し、パブリックコメントや市民説明会を経て、平成29年に「新花巻図書館整備基本構想」を策定しました。この基本構想は今後策定を予定している基本計画や基本設計、実施設計などの図書館整備に関する計画を定めていく上での根幹となる構想です。今年度は、建設場所についての方向性を示すことを前提として、その場所に適した建物のレイアウト、蔵書数やサービスなど新花巻図書館の具体的な基本計画の策定を目指す前段として、市民の皆さまからのご意見やアイデアをいただく目的で今回のワークショップを開催しています。

次に、生涯学習部長より新花巻図書館の整備候補地について説明しました。

<内容>

平成 29 年に定めた新花巻図書館整備基本構想では、花巻市立地適性化計画の都市機能誘導区域内に整備することとしており、その中で候補地として検討した場所は大きく分けてまなび学園周辺と花巻駅前です。

令和 2 年 1 月に、市は花巻駅東口の JR 東日本が所有する土地を借りて図書館が入った複合施設を建設する案を公表しましたが、これはあくまで一つの案として示したもので、議会や市民の皆様からご理解をいただければ今後調査を行い、事業化できるか探っていきたいというものでしたが、現時点ではその段階には至っていません。

※詳しい説明内容については、別紙「配布資料」や「詳細記録」をご覧ください。

グループワーク

グループワークはワールドカフェ形式で行いました。各テーブルのテーマを『図書館で今「やってみたい」「やれる」「求められてる」「ゆずれない」「やってあげられる」こと』とし、参加者は自分が選らんだテーブルにつき、前半と後半で 2 テーマについて話し合いを行ってもらいました。

まずは 1 人で考えて付せんに書き出し、テーブル内で共有します。出てきた意見やアイデアを見ながら、さらに考えを広げて話し合います。後半は違うテーマのテーブルに移動し、カフェマスターから前半の話し合いの内容を説明したのち、前半と同じ要領で話し合いを行いました。最後に各テーブルでどんな話し合いが行われたか、それぞれのカフェマスターから発表しました。

※各テーブルで出た意見やアイデアは、別紙「WS まとめ」をご覧ください。



講評

最後にアドバイザーの早川氏より全体の講評をいただきました。

- ・参加者の方の話している表情がとても楽しそうでした。素晴らしいワークショップでした。
- ・皆さんが出したアイデアや構想を、どう実現するか重点を置いてアドバイスをしていきたいと思います。
- ・全ての人を受け入れる図書館、人生を豊かにする図書館など、今回提示していただいた理念を今度は具体的なサービス計画等に落とし込んでいく段階になります。
- ・皆さんの口から出ないものは形にしようがないので、どんなことでも伝えていってください。
- ・今回参加いただいている皆さんにはぜひ新しい図書館の応援団になってもらいたいと思います。皆さんが力を貸してくだされば、きっと日本一の図書館はできると思います。



参加者のアンケートから

- ・基本構想について初めて知りました。難しさたっぷりだと思いますが、本日のような皆さんの意見を活かせる事業をぜひ成功させて頂きたいと心から思いました。
- ・面白かったです。最初はどんな意見が出せるか不安だったけど、難しく考えるのではなく、今の気持ちで考えたら、いろんなことを思い浮かべることが出来ました。
- ・候補地のメリット・デメリットをもう少し具体的に聞きたい。JRの賃貸料が市の負担にならないか、とか、市の所有地は他にどこかあるか etc。
- ・様々な方々の意見や想いを伺うことが出来、良い時間でした。

次回の内容

日時 令和2年9月27日(日) 9:00~12:00

場所 花巻市交流会館 交流スペース

テーマ 『話そうみんなで夢のとしょかん』

新しい図書館についてカテゴリ別にアイデアを出し合います。

1班「やってみたい」 1回目

- ・会員登録してる人にはDM
- ・広報活動！
- ・花巻で一番のお洒落スポット
- ・音楽ホール
- ・キッズスペース
- ・高校・専門・大学機能オープン
- ・学習スペース
- ・チャレンジショップ
- ・キッズスペース他
- ・利用者さんの読書感想文、オススメ本紹介
- ・グループの成果発表
- ・読書会※指導者※利用者
- ・デート
- ・智を求めて一日いられる
- ・常にわくわく新鮮な本がある
- ・多様なボランティア活動の場
- ・立ち読みが許される本屋
- ・下段図書用椅子(膝が悪いのでしゃがめない)
- ・朝活
- ・24時間図書館
- ・開館時間の延長(夜まで)
- ・コンシェルジュ<AI、FacetoFace
- ・閲覧は全てタブレット
- ・デジタル化
- ・研修室、会議室
- ・コーヒーを飲みながら過ごせる
- ・利用者同士の交流会
- ・大人向けの朗読会の開催
- ・夜間開館 18:00~22:00
- ・個室スペースの導入
- ・様々な文化・芸術とのコラボレーション
- ・若者向けのコンテンツを導入
- ・ヘッドホン全員着用

1班「やってみたい」 2回目

- ・利用者全員で SNS 発信
- ・利用者のおすすめ本紹介コーナー
- ・SNS での情報発信
- ・オンライン講習、講習会のリストお知らせ
- ・町の本屋さんに負けない図書館
- ・みんなの居場所
- ・日本一！注目される！賢治の精神人にやさしい
- ・誰でも楽しめる賢治コーナー
- ・宮澤賢治の作品解説を聞く
- ・図書館サバイバルゲーム
- ・カフェスペース(オリヒメカフェ等)例のない事、初めて！注目される！
- ・障がい児・グレーゾーンキッズのための交流&まったりスヌーズレンスペース
- ・LIVE スペース、劇場
- ・企業 PR スペース、ワークショップも OK
- ・子育て情報共有
- ・体験講習会、野菜のつくり方
- ・おじいさんやおばあさんの昔の話を聞く(茶話会)
- ・各ジャンルの CD を充実
- ・おいしいコーヒーが飲める(100 円で)
- ・ご朱印帳的、来たら記念になるようなスタンプとか
- ・花巻まつりの今昔ものがたり
- ・種の図書館、種の貸出(返却は収穫後種ができたら)
- ・新書の品揃え
- ・ユニバーサルデザイン
- ・水飲み場が欲しい(小さい子は特に)
- ・読んでくれる、声に出して読んでいいスペース
- ・進路相談会
- ・ICT、障がい者向け充実

2班「やれること」 1回目

- ・ ホームページ、ニュースレター発行
- ・ イベント・サークル情報発信拠点(ちらし・ポスター)
- ・ 本ではなくヒトを貸し出す(イギリス)
- ・ 閉館時間夜8時まで、学生の利便性
- ・ 中・高校生のいこいの場提供
- ・ 地域の人へつなげる、つながる
- ・ それぞれの人生にエッセンスを→心の豊かさへ
- ・ 自分の好みに合ったスペース空間
- ・ 花巻のこと知りたい調べたい
- ・ 親子と本をつなぐため
- ・ 児童向けサービス充実
- ・ 飲食しながら読書
- ・ 利用者興味ある分野の読み比べ
- ・ 複数の新聞読み比べ
- ・ 様々なワークショップ
- ・ 夜お酒飲みながら
- ・ 絵本の読みきかせ
- ・ 大人も子供も賢治の読書会(賢治塾)
- ・ 本読み(朗読?)
- ・ 紙芝居、手あそび、リズムあそび
- ・ 「猫の事務所」を作る<保護ネコ、カフェ、観光案内所
- ・ 学校図書館司書配置
- ・ 学校図書館への資料提供(郷土史料)
- ・ 先人ブース、伝統工芸品ブース
- ・ うたをうたう(大好き!!)
- ・ 調べる図書館コンクール
- ・ サウナルーム
- ・ 年1回のイベント(朗読会とか)→オープニングイベント!
- ・ スポーツジム
- ・ 企業PRの場
- ・ ミニコンサート(月に1回)
- ・ LIVEスペース
- ・ 小さな映画館
- ・ 落語を楽しむ
- ・ 司書はどこまで相談にのれるか?

- ・本に関するおしゃべり相談
- ・保育士常駐保育室
- ・不登校・外国籍の人への学習支援、居場所づくり

2班「やれること」 2回目

- ・人の紹介
- ・飲食店紹介コーナー(場所地図に)
- ・観光案内、観光協会との連携
- ・花巻の観光案内ガイドコーナー
- ・貸出し図書の案内
- ・公共文化施設(大学や高校、学校など)オンライン化
- ・利用者が本を紹介しあう機会をつくる(バトルでなくていい)
- ・県内・市内のおいしい食材
- ・高齢者と若年層の交流会
- ・テラスで読書
- ・学校図書館との連携
- ・若者向け対応の場所・人材
- ・絵本コンシェルジュ(相談・紹介)
- ・県内・市内のお酒
- ・個に対応1人のスペース
- ・集団に対応、楽しむワークショップ
- ・ベストセラーの案内
- ・空間分け、若人・年配・子・親グループ
- ・ニーズに合った利用が可
- ・ネットで注文、自宅に届く貸出サービス
- ・小さいときから図書館に～中高生も
- ・交流、声を出しても OK
- ・図書館発地域発見ツアー(関連図書も紹介)
- ・森や緑をイメージして集える
- ・花巻を代表するモニュメント、画家伊勢秀子さんとか作品
- ・花巻の先人、偉人、紹介講座
- ・刺激を受ける交流
- ・ギャラリー
- ・美術作品の展示(ギャラリー)市民の
- ・夜の図書館
- ・図書館でオーバーナイト

としょかんワークショップ 一般編 第2回 (9.13) ワールドカフェまとめ

- ・クライミングジム併設
- ・音楽スタジオ併設
- ・レンタルオフィス会議室、Wi-Fi、プリンター
- ・ナイトライブラリー
- ・絵本+コンサートカフェ
- ・司書になりたい学生のサポート
- ・司書さんに相談(専門性)
- ・100年後にも誇れる長い目で考える
- ・困ったときには図書館へ行こう！
- ・利用者にやさしい(障がい者、子ども、高齢、中高生)

3班「求められている」 1回目

- ・育ちの場 ・集える
- ・受け皿 ・子どもが社会性を学べる場
- ・ママ・子ども・障がい者・介助者の居場所になるスペース(会話できる・ICT やスヌーズレン・飲食できる)
- ・コミュニケーションが誰とでも取れる、意思疎通を補完する仕組みや装置がある
- ・利用しやすい設備(エレベーター・エスカレーターなど)
- ・誰もが利用できる子ども・お年寄り・障がい者、車いすなどなど(使えないバリアフリー多々あり)
- ・気軽さ・しきいを低く
- ・今利用している人・利用していない人みんなが行きたくなるフンイキ(外観も)
- ・予算にしばられない
- ・そうだ、図書館へ行こう！ ・毎日行きたい
- ・他の市町村に誇れる。けんじ←世界一、自然、美しさ
- ・できれば日本一！！(建物のセンスも)
- ・どの年代でも行きやすい場所(交通の便など)
- ・五感があらわれて変身できそうな自分になれる
- ・欲しい情報が手に入る
- ・専門家に聞ける
- ・著作権に詳しい
- ・大人もおもいで帳
- ・職員の専門性
- ・安心安全アクセス
- ・住民とともに成長していく肉体(図書館)
- ・徹底的に人に優しい
- ・トータルな視点で設定←まちへの思い・構想
- ・文化創造
- ・100年図書館、将来をみすえ
- ・都会のなかで人が手入れしている自然を感じられる
- ・自然環境
- ・明るい、おしゃべりできる空間
- ・声に出して読める、声に出して読んでくれる職員(補助装置、スペース)
- ・場所まんぷく西側でまちなかやおもちゃ美術館との回遊性
- ・各種の本をいっぱい
- ・駐車場は立体でなく、平面
- ・映像を利用できる場をいっぱい
- ・読んでくれる人がいる

- ・自然を感じられる
- ・ゆとりの空間
- ・人にやさしい→意味を広げる
- ・安心・安全
- ・気軽さ、しきいは低く
- ・できれば日本一
- ・予算？何それ！
- ・要望→守るべきもの
- ・意見→集めた以上は受け止めはんえいさせるべきもの

けんじ観光、コロナ-どうあるべきか、危険、市民セミナー、飯館村、さくらいかつのおぶ

- ・ほしい本をリクエストできる-いつでもボックスにリクエストカードを入れられる
- ・人吸い上げ
- ・接客業であるために気持ち良く利用していただけるような対応
- ・話しかけやすい職員
- ・ワンストップで図書館以外の用達しもできる。町の活動の情報入手、地場産品のお買い物
- ・次世代人がへっても豊かな創造性を保ちつづけるスキル

3班「求められている」 2回目

- ・みんなで映画「パブリック図書館の奇跡」を見よう!? ホームレスを解決したように地域の問題を解決できる拠点
- ・イベント・サークルの情報集約・発信の基地(チラシ・ポスター)
- ・重度障がい者などアイモットなど機器・ITを利用して親子・友人同士でくつろげる場所
- ・学校・幼稚園・保育園・老人ホームの人達がバスなどで来て読書出来る
- ・花巻ならではの独自性のあるコンセプト(他の町の図書館となんかちがうよね)
- ・「賢治の香りあふれるまち」の市のコンセプトを生かす、けんまち
- ・時間を金を命を惜しむな! しっかりと質の高いものを。
- ・WS 意見の基本計画へ反映すること。プロセスの明確化
- ・自然もゆたかで心がいやされるようなところ
- ・ずばり日本一の「イーハトーブ図書館」を目指して!
- ・家族農業・賢治の教育(農業演劇など)から新しい生活モデルを提案・探求する図書館(SDGs)
- ・賢治の好き嫌いだけではない、地域柄、農業・仏教・演劇など「学びの広がり」があることにこだわる
- ・花巻市の現代史(昭和・平成)の本や資料がしっかりある。シビックプライド。
- ・ふるさと納税(図書購入)
- ・音楽・演劇など発表出来る防音そう備のあるもの、ミニシアターとか
- ・コロナ禍の中でゼロベースで図書館論争を
- ・富士大の市民セミナー開催、“コロナ禍を契機として”
- ・不登校・外国人移住者への学習支援の場、国語、自習
- ・小さい子供が声を出して本を読んでも他人に迷惑にならない設備
- ・見やすいセンス高いホームページ、独自のホームページ
- ・現実性、実現性、リアリティー
- ・青森市の「アウガ」に学ぶ。中身と質の議論が大事、財政的に将来負担を残さないこと。コンパクトシティの学び
- ・リカレント教育機能(大人の学び直し)
- ・法令順守、関連計画との整合性
- ・納期(4年以内)着工

洗練されたデザイン←再生機能エネルギー+多様性、木質・木材・寄木・自然インクルーシブ、誰もが知的好奇心を心地よく刺激される

4班「ゆずれない」 1回目

- ・日本一の賢治図書館！？
- ・駅前、小学校高学年が自分たちでこられる所
- ・市の土地を利用してほしい
- ・賃貸住宅は NG
- ・賃貸住宅ではなくミニシアターを
- ・営林署の跡地と体育館をつづけた広い土地にしてほしい（体育館はこわす）
- ・緑と歴史を感じさせるところにしてほしい
- ・集合住宅案の撤回・謝罪
- ・複合施設の内容は市民のくつろぎと交流に資するものを
- ・立体駐車場 NG、子供・障がい者・老人にもやさしいところ
- ・テナントはカフェ、軽食などを入れても良い
- ・基本構想を重視した図書館にしてほしい
- ・そもそもの「図書館」論の復活！
- ・箱ものより「理念」論争
- ・コロナ禍の中の「図書館」論争
- ・専門司書のはいび
- ・学校図書室とのれんけい
- ・利用者を制限しない
- ・ホームレスにも開かれた図書館とは
- ・障がい者の人達も車椅子で子供とふれあい親同士で交流出来るルームが欲しい
- ・くつをぬいで本を読める
- ・郷土資料の有効利用 公開
- ・図書館は「百年の計」
- ・政策決定の透明化の推進
- ・AM9：00～PM8：00 の開館
- ・教育委員会の関与
- ・市民参画の情報公開
- ・パブリックコメントなどで説明を終らせないでほしい
- ・今回のワークショップで市民の声をきいた事にしないで下さい
- ・「駅前」構想の政策決定過程を明らかに
- ・4年以内の着工

4班「ゆずれない」 2回目

- ・せっかくだから日本一をめざす、何か1つでも日本一を！
- ・宮沢賢治を特色として、観光客にもアピールできる
- ・偉人コーナー 案内→記念館他
- ・議論オープン、マスコミ先行、市長からの公式発表
- ・駐車場完備！、他施設との併用 NO！
- ・図書館と各学校との協力・連携
- ・学校図書館司書の配置、将来的に全校
- ・個人団体共に利用可
- ・コンシェルジュ、市民からの問い合わせ
- ・アクセスのしやすい図書館
- ・地域に開放的な図書館
- ・利用者の多い図書館
- ・好きな場所で本を読める
- ・環境を大切に（周辺環境、自然環境）
- ・新聞閲覧スペースは広く！
- ・PCを利用しやすく、台数多く
- ・車椅子に便利である事
- ・百年の計賛成
- ・図書館内に中・高生の居場所（フリースペース設置）
- ・7→11 開館
- ・早朝開
- ・学習室（受験生用）23：00 まで
- ・安心安全
- ・予算は後で
- ・要望は…聞きっぱなしではなく
- ・意見は…聞いて終わらないで

5班「やってあげられる」 1回目

- ・映像資料の上映会
- ・体験したことを話す、資料＝人
- ・オンライン資料
- ・歴史・資料の収集
- ・歴史講座（各種）
- ・目の不自由な人に点字資料を提供してあげる
- ・オーディオブックの再生機器貸出
- ・外国語資料
- ・本の紹介、CD、DVD…、オーディオブック
- ・耳から入る資料
- ・くつろげる空間をつくる（不登校でもいいみたいな）
- ・くつろげる空間→ソファ、カフェ
- ・音声だけを流す部屋
- ・わかりやすいお知らせコーナー
- ・利用者のブックレビューを掲示する→交流を生む
- ・館内の図書案内
- ・探せず困っている情報を、代わりに探してあげられる
- ・団体貸出で本をもって行ける（病院にも）
- ・移動図書館車（BM）で行ってあげられる
- ・老若男女の市民に対して情報・場・体験を提供
- ・障害者のサポート
- ・どんな人でも情報格差がなく！
- ・子どもの一時的あずかり
- ・読み聞かせ
- ・図書館のボランティア 貸出し、運搬、その他
- ・サークルさんとコラボ、季節のお花など発表の場
- ・ブックレビューを書く
- ・本を借りる
- ・図書館に行く、入館者数をふやす
- ・展示をする（ギャラリーコーナー）→来館者数をふやす
- ・図書館に行けば新しいことに出会える
- ・「やってあげられる」→「足りていないことを補う」ニーズを掘りおこし答える
- ・人と人との交流をつくる機会

5班「やってあげられる」 2回目

- ・ 拡大鏡・拡大器がある
- ・ 楽器の練習スペース
- ・ 個室でDVD 観れる
- ・ わかりやすい案内表示
- ・ 個室、PC室
- ・ たたみコーナー
- ・ 駅とかに本をおく、出張図書館
- ・ 利用しやすい開館時間 ※流動的に
- ・ 広報の図書館情報、もっと広く！わかりやすく！
- ・ 外国語の本を読んでもくれる
- ・ スマホタブレット使い方教室
- ・ 海外移住者向けサービス
- ・ 子供あずかりボランティアの方への場所提供
- ・ 政治・経済についての最新情報の公開→図書の導入
- ・ 前もって申し込んでいた本がカードを示せば出て来る
- ・ 女性の学びスペース情報
- ・ 市民の発表コーナー（写真、手づくり品 etc.）
- ・ 地域企業との協働
- ・ IT・ICT 通信機器
- ・ ネーミングライツ
- ・ ボランティアとの協働
- ・ チャレンジショップ（起業家向け）
- ・ 読み聞かせ、お掃除、保育
- ・ 観光ガイド
- ・ 読み聞かせ
- ・ ボランティアの登録・とりまとめ
- ・ 富士大ゼミとか
- ・ ティーンズコーナー、学生に運営してもらう
- ・ 持っている本のきふ

としょかんワークショップ 一般編 第3回 まとめ

- 日 時 2020年9月27日(日) 9:00~12:05
- 場 所 花巻市交流会館 交流スペース
- テーマ 「話そうみんなで夢のとしょかん」
- 参加者 31名(今回より20代、高校生が新しく10名参加)
- アドバイザー 富士大学教授 早川 光彦 氏
- 当日の内容

グループワークその1 アイディアの分類

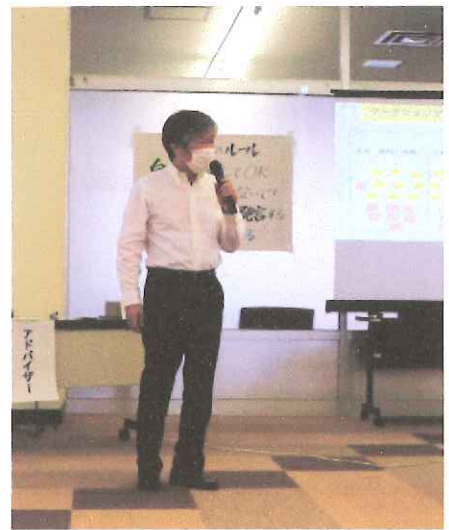
今回から、としょかんワークショップ20代編・高校生編に参加されていたメンバーや、新しく参加される方々も新たに迎え、新花巻図書館の重点を導き出すワークを行いました。

前半のグループワークでは、はじめに班のメンバー同士で自己紹介を行った後、これまでのワークショップ(20代編・高校生編を含む)で出された意見から特に大切にしたいアイデアを選びました。またこれまで出されたもののほかに、新しいアイデアもどんどん追加されました。その後、班のメンバーがどんなアイデアを選んだのか共有しながら、大きな3つのカテゴリ「本・資料・情報」「運営・サービス」「建物・環境・施設・家具」に分類していききました。



ワンポイントアドバイス

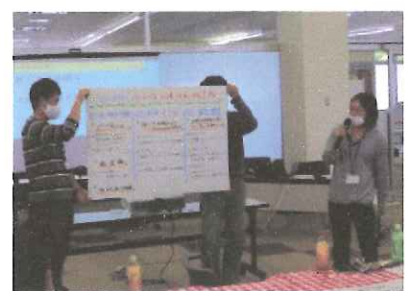
- ・非常にいい雰囲気がたくさん意見が出ていて理想的な形で進んでいると思います。
- ・ミヒヤエル・エンデの『はてしない物語』で、大人が夢を語らなくなってから物語の世界に闇が広がったという描写があります。今日のワークショップを見ていてそのエピソードが思い出されました。お薦めなのでぜひ読んでみてください。
- ・「図書館は民主主義の学校」と言われますが、今やっていることが正にそのもので、この様子はぜひいろんな方に見てもらいたいと思います。



グループワークその2 重点を導く

後半のワークでは、新しい図書館の重点を導き出す話し合いを行いました。まずは前半で分類したアイデアの中から、重点を一人ひとり考えました。次に個々に考えた内容を班ごとに共有し話し合うことで、それぞれが考えた重点を組み合わせたたり発展させたりして、理想の図書館を実現するために必要となるのはどんなことか班全体で考えました。最終的に模造紙にカテゴリごとの重点を書き出し、全体で発表を行いました。

※各テーブルで出た意見やアイデアは、別紙「WSまとめ」をご覧ください。



講評

最後にアドバイザーの早川氏より全体の講評をいただきました。

- ・今日、印象に残った言葉がいくつもありました。「未来に出会える場所」「いろいろなチャレンジができる場」そして「行動に移せる場」など。図書館は可能性を提供する機関と言われますが、今回

のワークショップでそういう部分がかかり出てきています。

- ・南相馬で酸素ボンベが欠かせない障がいを持った女の子との出会いがありました。その子は図書館が本当に大好きで、何か図書館でできる作業がないかと相談に来ました。その子は言葉を話せませんが、聞いて理解することはできるので返却された CD・DVD の清掃などをやってもらってました。残念ながらその子は亡くなりましたが、今でもその子の笑顔ばかり覚えています。間違いなくその子にとって図書館は居場所の一つであったのだと思います。花巻図書館も全ての人の居場所の一つとして選ばれる場所に必ずなるだろうと感じました。

参加者のアンケートから

- ・自分の考えや意見だけでなく、グループメンバーの考えや意見を聞くことができ、全員の意見をまとめることができたのがよかったです。全員が図書館について真剣に考えているのが良いと思いました。
- ・テーマごとの分類作業で、前回の意見を深く考えることが出来ました。グループ内に高校生も加わり、新鮮でした。
- ・それぞれゆずれないものが違っていて難しかったけど、それが面白さだと感じました。「こんな図書館にしたい！」という夢がたくさん語れてわくわくしました。
- ・どのグループでもよく考えられていると感じたし、ニッチな意見も大切にこれらの意見をぜひくみ取って、新花巻図書館の設立へ役立てて欲しいです

次回の内容

日 時 令和2年10月11日(日) 9:00~12:00

場 所 花巻市交流会館 交流スペース

テーマ 『つくってみよう みんなのとしょかん①』

理想や夢からサービスやソフト面をブラッシュアップしていきます。

1班 ★=新しく出た意見

①本・資料・情報

- ・おすすめの本、紹介コーナー
- ・本の紹介、CD、DVD、オーディオブック
- ・対談しことを話す、資料=人
- ・賢治コーナー(大人も子どももわかる)
- ・郷土資料の充実
- ・歴史・資料の所蔵
- ・利用者の SNS 発信
- ・耳から入る資料
- ・オーディオブック & 再生機器貸出
- ・タブレット閲覧
- ・オンライン資料
- ・ネット時代において図書館じゃ知れないこと
- ・点字資料の提供
- ・外国語資料

②運営・サービス

- ・閉館時間 8 時(20 時)まで
- ・夜まで使える
- ・飲食ができるスペース
- ・飲食しながら読書
- ・コーヒーコーナー(飲食?)
- ・就活支援
- ・ビジネス支援
- ・就活応援コーナー
- ・企業 PR スペース、ワークショップ
- ・チャレンジショップ
- ・イベント
- ・イベント、サークル、情報発信
- ・朗読会
- ・本の読みきかせ
- ・人と人との交流をつくる機械
- ・映像資料の上映会
- ・子育て世代の交流ができる
- ・保育士常駐、保育室
- ・落語会
- ・障がい者サポート
- ・団体貸出

- ・BM(移動図書館)
- ・館内であれば本を持ち歩くことができる
- ・人の支えになれる司書
- ・探せず困っている情報を代わりに探してあげられる
- ・どんな人にも情報格差なく
- ・オンラインでのサービス(質問回答など)
- ・他の専門施設との連携(博物館や専門図書館)
- ・色々なことができる
- ・自立した図書館
- ・図書館に行けば新しいことに出会える
- ・観光案内(花巻はもちろん近隣市町村も)
- ・利用者のブックレビューを掲示→交流を生む

③建物・環境・施設・家具

- ・アクセスの充実
- ・駅に近い
- ・駐車場が広い
- ・広場スペース
- ・学習スペース
- ・人が集まりやすい場所とゆったりした所
- ・ジム併設
- ・LIVE スペース
- ・音声だけを流す部屋
- ・研修室、会議室
- ・小さな映画館
- ・小さなホール(音楽、演劇等)
- ・キッズスペース
- ・キッズスペース
- ・水飲み場(小さい子には必要)
- ・ミニシアター
- ・中・高校生のいこいの場
- ・不登校でもいいみたいなくつろげる空間
- ・書架は手の届く高さで子ども用は子どもの目の高さで
- ・みんなの居心地のいい空間
- ・ユニバーサルデザイン
- ・ソファ、カフェ、くつろげる空間

2班 ★ = 新しく出た意見

①本・資料・情報

- ・ DVD、CD の貸し出し
- ・ オーディオブックの利用
- ・ 本以外の資料、タブレット★
- ・ 絵本の充実★
- ・ 雑誌、マンガ
- ・ 郷土史
- ・ 戦争関連★
- ・ 職業が知れる
- ・ 学生用の受験資料(赤本等)★
- ・ 資格の本

②運営・サービス

- ・ 1回にかりれる冊数を増やす
- ・ 図書館←バス→童話村
- ・ 開館時間を延長
- ・ 開館時間 7-11
- ・ 休館日を極力少なく
- ・ 若者が(図書委員??)選書
- ・ タブレットの貸し出し
- ・ イベント
- ・ 文字の拡大機
- ・ 検索機
- ・ 就活、企業 PR
- ・ 不登校、外国籍の人の支援
- ・ 本の在庫が Net で見える
- ・ 学校図書館とのれんけい
- ・ 学校図書館司書
- ・ 家じゃないけどいなくなる
- ・ 司書の専門性
- ・ 学校や仕事帰りに立ち寄れる
- ・ 自分の行きたいコーナーにすぐ行ける
- ・ 自由に使える席
- ・ 図書館利用のルールを見えるように

③建物・環境・施設・家具

- ・ Wi-Fi 設置+
- ・ Wi-Fi
- ・ 民間企業活用、コラボ
- ・ IT、ICT の先端モデル、企業コラボ
- ・ 明るい空間
- ・ 観光地になるような図書館
- ・ カフェ併設
- ・ 移動図書館のあり方は?
- ・ ママ、こども、身障者にやさしい
- ・ 音楽スタジオ
- ・ 個室スペース
- ・ 日本一! 注目される! 賢治の精神
- ・ 一人になれる場所(個室)
- ・ 静かな場所と騒ぐ場所をわける
- ・ 学習スペース
- ・ 下段図書用椅子
- ・ ホールや体育しせつ
- ・ 好きな場所で本が読める
- ・ 座席数が多い◎
- ・ 観光者も入りやすい、建物と併設(カフェ、キッチンカー、観光、案内所、賢治関連)
- ・ バス停 or 駅の近く
- ・ 自由に使える席
- ・ バリアフリー
- ・ テラス席
- ・ 飲食スペース
- ・ 飲食スペース
- ・ ワンストップで図書館以外の用達しも!
- ・ おしゃべりスペース、学ぶスペース別々
- ・ 利用者別の違う高さの本棚
- ・ 障がい者のサポート

3班 ★ = 新しく出た意見

①本・資料・情報

- ・IT、プログラミング、先端技術
- ・一次資料は必須
- ・Wi-Fi
- ・専門誌、バイブル本
- ・行政資料の充実(公文書館機能)
- ・健康の各論共有、衣食住
- ・データ保管のスペース、機器の民間貸し出し
- ・デザイン動画制作できる
- ・開発、IT、部屋、パソコン関連

②運営・サービス

- ・BGM
- ・図書館の公募(民間起用)
- ・新しいことへ挑戦する
- ・教育委員会直轄、花巻のホジヨ執行はイビツ、生涯学習、ポリシーをもって成果につなげる
- ・新興製作所跡地(丘の上) <場所>
- ・おもちゃの貸出
- ・高校生、大学生、大人がボランティアで常についてくれて、勉強を教えてくれたり相談にのってくれたり
- ・仮眠できる
- ・健康の仕組み

③建物・環境・施設・家具

- ・超エコ、再生エネルギー
- ・バリアフリーの充実した空間
- ・個室、グループ or 個人で使える
- ・みんなでわいわいしてもいい場所
- ・十分な空間
- ・ライブスペース、ミニシアター
- ・カフェ、普段ととしょかんに来ない人のきっかけ
- ・音楽スタジオ、防音
- ・調理室、実験室、本を見ながら実際にできる！！
- ・おにぎりできたて
- ・産直
- ・テーマごとにリラックスルーム、多様性、けんじ、お酒、コーヒー
- ・お酒、コーヒー、けんじ、多様な
- ・石造 or レンガ造、経年が魅力になる
- ・空間、センス、デザイン
- ・外苑整備(緑化)
- ・シャワーある、ジム
- ・サウナがある
- ・日本一のトイレ、話題性、クールな、大事
- ・駐車場、車

④その他

- ・①日本一、イーハトーブライブラリー、セレクト5、①、日本一
- ・②死ぬまでに行きたい15選、オブセ、世界、京都
- ・③「つづき」の図書館、本が人を追せきする
- ・④誰にでも開かれている図書館
- ・⑤成長する有機体としての図書館、新しいけんじ論

4班 ★ = 新しく出た意見

①本・資料・情報

- ・困ったときには図書館へ行こう！
- ・花巻のこと知りたい、調べたい
- ・花巻のこと知りたい、調べたい
- ・広報の図書館情報わかりやすく
- ・耳から入る資料
- ・賢治の教育から新しい生活モデルを提案探求する
- ・イベント、サークル、情報発信拠点
- ・飲食店紹介コーナー
- ・外国で普段読まれている本、ベストセラー
- ・外国語サービス、読み聞かせ、移住者向け
- ・賢治の思想より花巻、農業、仏教、石、空、演劇などの発表空間
- ・賢治塾

②運営・サービス

- ・様々なワークショップ
- ・花巻の先人、偉人紹介講座
- ・司書になりたい学生のサポート
- ・もっと市民の声をきいて図書館の基本計画にしてほしい(情報公開)
- ・富士大ゼミ
- ・本に関するおしゃべり相談
- ・地域の人へつなげる、つながる
- ・IT、ICT 機器
- ・予算にしばられない-ほしい本のリクエストには全て答えられる
- ・利用しやすい開館時間、学生、働く人、主ふ、高齢者
- ・出張図書館、アクティブに外に出ていく司書
- ・全員正規の司書を！
- ・ボランティアとの協働！
- ・ティーンズコーナー学生が運営
- ・図書スペースを要所要所につくる
- ・開館時間、夜8時まで
- ・学生利便性(夜8時まで)

③建物・環境・施設・家具

- ・空間分け(若人、年配、子、親グループ)
- ・空間分け、若人、年配、子、親グループ
- ・企業 PR の場
- ・利用者のブックレビューを掲示(交流を生む)
- ・エレベーター、エスカレーター
- ・3班 重度障がい者の車椅子が人や学校、幼稚園(保育園)、老人ホームにいる人達がバスで来て本に親しんでもらえる
- ・自分の好みに合ったスペース空間
- ・観光協会と連携
- ・安心、安全アクセス
- ・4班 賢治の精神を生かした全国にほこれる図書館にしてほしい、思いやり、やさしさ、ゆとりなどあるところ
- ・誰でも自由に利用しやすい図書館(外国人にもわかりやすい説明)
- ・明るく、おしゃべりできる空間
- ・車いすでもらくらく通れる
- ・声に出して読める(小さな子が声にだしてもいい)、声に出して読んでくれる(補助装置、職員さん)
- ・緑と歴史を感じさせるところ
- ・市の発表された構想をぬきにして
- ・ママ、子ども、障がい者、介助者の居場所になる会話、飲食できるスペース
- ・わかりやすい案内表示
- ・立体駐車場は老人、障がい者にはふさわしくない
- ・くつろげる空間(ソファ、カフェ)

5班 ★ = 新しく出た意見

①本・資料・情報

- ・ 日本一の賢治図書館
- ・ 郷土資料の有効利用公開
- ・ 大学の論文★
- ・ 絵本
- ・ 過去の新聞を見やすくしてほしい
- ・ 先人ブース
- ・ 図書館のデジタル化
- ・ 子育て情報
- ・ 欲しい情報が手に入る
- ・ 公共文化施設オンライン化
- ・ 観光情報、観光協会とコラボ
- ・ 強みを看板に

②運営・サービス

- ・ 基本構想を重視
- ・ 専門司書の配備
- ・ 学校図書館との連携
- ・ 利用者を制限しない
- ・ ホームレスには開かれた図書館
- ・ 車イスで、子どもとふれあい、交流できるルーム
- ・ くつをぬいで本を読める
- ・ AM9:00～PM8:00の開館
- ・ 23時までの学習スペース
- ・ 体験講習会
- ・ 様々な生活スタイルに溶け込む図書館★
- ・ 金を稼ぐ図書館★
- ・ 話しかけやすい職員
- ・ 開館時間8時まで延長
- ・ 民間（地元企業、NPO）との協同運営★
- ・ チャレンジショップ（若者がチャレンジできる）

★

③建物・環境・施設・家具

- ・ 駅前、小学校高学年が自分でこられる
- ・ 緑と歴史を感じられる
- ・ カフェ、軽食を入れてほしい
- ・ 若者が集う図書館
- ・ 個室がほしい
- ・ フリースペース
- ・ 明るくて解放感
- ・ PCが多い
- ・ 防音室
- ・ ちょっとしたホール
- ・ 騒いでもOK! キッズスペース
- ・ 障がい者サポート、バリアフリー
- ・ カフェスペース
- ・ 音楽ホール
- ・ 高いデザイン家具★
- ・ 空間分け
- ・ 魅力的な「環境」としての図書館
- ・ 駐車場は立体ではなく平面
- ・ 小さい子が声出して本を読める設備
- ・ 誰もが利用できる(バリアフリー)
- ・ どの年代も行きやすい場所
- ・ みんなが行きたくなるフニイキ(外観)
- ・ 明るいおしゃべりできる空間

6班 ★ = 新しく出た意見

①本・資料・情報

- ・とにかく蔵書数
- ・外国語資料
- ・様々な統計資料 (データ)
- ・全国の大学の論文
- ・先人の記録
- ・古文書の解読
- ・拡大鏡
- ・郷土誌の資料
- ・デジタル化
- ・デジタル資料 (古い、貴重なもの)
- ・音声資料
- ・子育て情報
- ・企画展 花巻の資料とか賢治のみせる

②運営・サービス

- ・子どもの一時的預かり
- ・利用者のブックレビュー掲示
- ・好きな場所で本を読める
- ・不登校・外国籍の人への学習支援、居場所
- ・個室でDVD
- ・就活支援
- ・今週、今月のおすすめ (VILLAGE VANGUARD)

★

- ・100年後誇れる
- ・利用者にやさしい
- ・毎日行きたい
- ・読み聞かせ
- ・スマホ、タブレット、パソコン教室
- ・(アプリとかで) 混雑状況★
- ・CD、DVDの聴ける装置があれば
- ・移動にレンタサイクル★

③建物・環境・施設・家具

- ・Wi-Fi、ワークスペース、会議室、プリンター
- ・中高生の居場所
- ・フラット (1階)
- ・勉強専用スペース (飲食可、Wi-Fi)
- ・PCが使いやすい環境
- ・カフェスペース
- ・カフェ併設
- ・盛岡のTSUTAYA (デザイン、システム)
- ・ICT、スヌーズレン、障がい者向け充実
- ・交流、会議スペース
- ・ママ、子ども、障がい者の居場所
- ・ユニバーサルデザイン
- ・(となり・外でいいので) セレクト文具、本、雑貨
ショップ (ミュージアムショップみたいな) ★
- ・文房具を購入できる
- ・低い、丸い、寝そべれる★
- ・ソファ
- ・フリースペース 声を出してもOK
- ・木の床 木造内装
- ・うたた寝可★
- ・くつをぬいで本を読める
- ・区切られたスペース
- ・美術ギャラリー
- ・長いろうか★
- ・(場所) 交流会館★
- ・野外ステージ★
- ・音楽スタジオ

としょかんワークショップ 一般編 第3回 (9.27) ワークその①まとめ
第2回ワークショップ、20代・高校生編で出された意見やアイデアを「分類」

7班 ★ = 新しく出た意見

①本・資料・情報

- ・職員の専門性
- ・十分な蔵書
- ・百年の計の図書館 資料・蔵書
- ・論文、参考書
- ・郷土の資料図書を保存する整備
- ・読みたい本がすぐ読める
- ・ホームページ、ニュースレター、情報発信の工夫 (情報発信拠点)

②運営・サービス

- ・図書館まで無料の交通手段がある
- ・読書会
- ・開館時間[EXP]6:00~23:00
- ・育ちの場 (親も子も)
- ・絵本コンシェルジュ (相談・紹介)
- ・体験型図書館 (子ども)
- ・子ども時代からず〜っと関わる
- ・智を求めて1日いられる
- ・文化交流 (音楽、絵画…)
- ・大人向け朗読会
- ・賢治塾 (賢治さん香るまちづくり)
- ・花巻市史の市民による編さん (歴史を大事)
- ・本ではなく人を貸し出す
- ・花巻ならではの 独自のコンセプト

③建物・環境・施設・家具

- ・フリースペース (飲食可)
- ・Wi-Fi がある
- ・イベントスペース
- ・キッズスペース
- ・間仕切りフリーにして学習室を
- ・森や緑をイメージして集える
- ・花巻で一番のお洒落スポット
- ・受け皿
- ・毎日行きたい
- ・外国人不登校ひきこもり障がい者の居場所づくり
- ・バリアフリー
- ・ユニバーサルデザイン
- ・子どもスペース 広い
- ・カフェスペース
- ・音楽ホール
- ・テラスで読書
- ・コンビニ パン屋
- ・収納スペース
- ・なはんプラザに移転する
利用者があまりないため
建築費がかからない
- ・日本一注目される
- ・100年図書館 将来をみすえて

1班 新花巻図書館の「夢と理想」のために必要な重点

①「本・資料・情報」

利用者の方も自由にSNSを使って情報を発信する。
後世に受け継げるよう、地域ならではの資料の充実
オンライン関連の充実

②「運営・サービス」

あらゆる人にとってアクセスしやすい開館時間
人との交流を生むイベントの企画
一日中居られるレジャー施設のような図書館

③「建物・環境・施設・家具」

老若男女家にいるような感覚で利用できる
あらゆる年齢層にとって利用しやすい場所
地元企業と若者をつなげ地域活性化に発展させる図書館

2班 新花巻図書館の「夢と理想」のために必要な重点

①「本・資料・情報」

- ・賢治の精神をもとにした誰もが学びやすい資料がたくさんある図書館
- ・どの世代にも刺さる！
- ・いろいろなジャンルの本がある
- ・特に学生が調べ学習や資格・進路選択に使えるような資料がたくさんある
- ・オーディオブックなど本以外の資料がたくさんある

②「運営・サービス」

- ・開館日時×開館時間 日本一開いている図書館
- ・学校図書館との連携と学校司書の導入
- ・どんな人でも参加できる各種イベントを開催
- ・賢治の朗読会や花巻にゆかりのある人を出すなど
- ・オープニングセレモニーを派手に
- ・誰でも使いやすい検索機、タブレット貸出
- ・1回に借りられる冊数を増やす！

③「建物・環境・施設・家具」

- ・明るく居心地のいい、いい空気が流れている
- ・家じゃないけどいたくなる
- ・座席数やフリースペース (音楽スタジオ、ホールなども) が多い
- ・長時間利用が可能で強いWi-Fi完備、飲食スペースやテラス席がある
- ・お喋りができるスペースと勉強できるスペースを分ける
- ・民間企業とコラボして最先端技術や地域に触れ合い、若者が地元で働く将来を考えられる
- ・全国の手本となる身障者や外国人にもわかりやすく使いやすい
- ・ユニバーサルデザイン
- ・周囲の環境に合わせた賢治世界を感じられる建築
- ・周辺の文化施設や公共交通機関とのつながり

3班 新花巻図書館の「夢と理想」のために必要な重点

①「本・資料・情報」

- ・古、新あらゆる情報 正しい情報に早く充分にアクセスできる
- ・宮沢賢治観を表現した日本の情報発信、収集

②「運営・サービス」

- ・人材、顔となる人が優秀であること (スーパー人材、民間から)
- ・食と健康につながるサービス (おにぎりカフェ)

③「建物・環境・施設・家具」

- ・場所は柔軟に選定 (新興跡地)
アクセスの質も大事 (車、歩、自転車、公共交通) 楽しい、安全
- ・防音の個室 (グループ活動、単独活動どちらも) お話も、静かさも対応
- ・外との関連性のある人と本が光る美しい開放的で洗練された配置、配架、通路、照明
- ・5つの夢の視点につながること 「成長する有機体」

4班 新花巻図書館の「夢と理想」のために必要な重点

①「本・資料・情報」

困ったときは図書館へ行こう！
 知りたい、調べたい花巻のこと イベントサークル情報が集まる！
 いろいろな情報がある！・耳から入る資料、外国語資料⇒皆が知りたくなる情報発信

②「運営・サービス」

基本構想に沿った運営を！
 正規の司書・専門技術を持った職員
 ボランティア（学生ボランティアのティーンズコーナー）
 開館時間みんなに使いやすい
 出張図書館（駅前や公共の場に図書スペース）

③「建物・環境・施設・家具」

自然豊かでみんながくつろげる
 年代・用途に応じた空間分け
 障がい者が利用しやすい施設
 ・駐車場（屋内にある、バリアフリー）
 ・書架スペース（車いすが通りやすい）
 情報にアクセスできる設備
 図書館+αのスペース（イベント会場、会議室など...）

5班 新花巻図書館の「夢と理想」のために必要な重点

①「本・資料・情報」

- ・デジタル化の推進（検索機能、資料、AI司書）
- ・花巻を知るスタートの場（観光・情報など）

②「運営・サービス」

- ・すべての人（多様な生活スタイル）に対応する運営（広い時間帯など）
- ・チャレンジできる場（チャレンジショップ含め）発表の場であったり…

③「建物・環境・施設・家具」

- ・来やすい立地（車も自転車も徒歩もバスでも）
- ・それぞれの過ごし方に合わせたゾーニング（スペース）
わいわいもシーンも共存

としょかんワークショップ一般編 第3回 (9.27) ワークその②まとめ

6班 「みんなが使いやすい図書館」

① 「本・資料・情報」

「デジタル化」

- ・専門的な資料・データ・貴重な資料が保存でき、アクセスがしやすい

- ・誰でも読みやすい

「蔵書数」

- ・十分な量と洗練された質

「多岐にわたる情報」

② 「運営・サービス」

「誰でも利用できる」

→ 行けば何かできる」

- ・行きやすい
(混雑状況、レンタサイクル、交通機関)

- ・使いやすい
(毎日行きたい工夫、子ども時間帯 など)

- ・行ってみたい
(就活支援、スマホ・PC教室、みんなの居場所)

③ 「建物・環境・施設・家具」

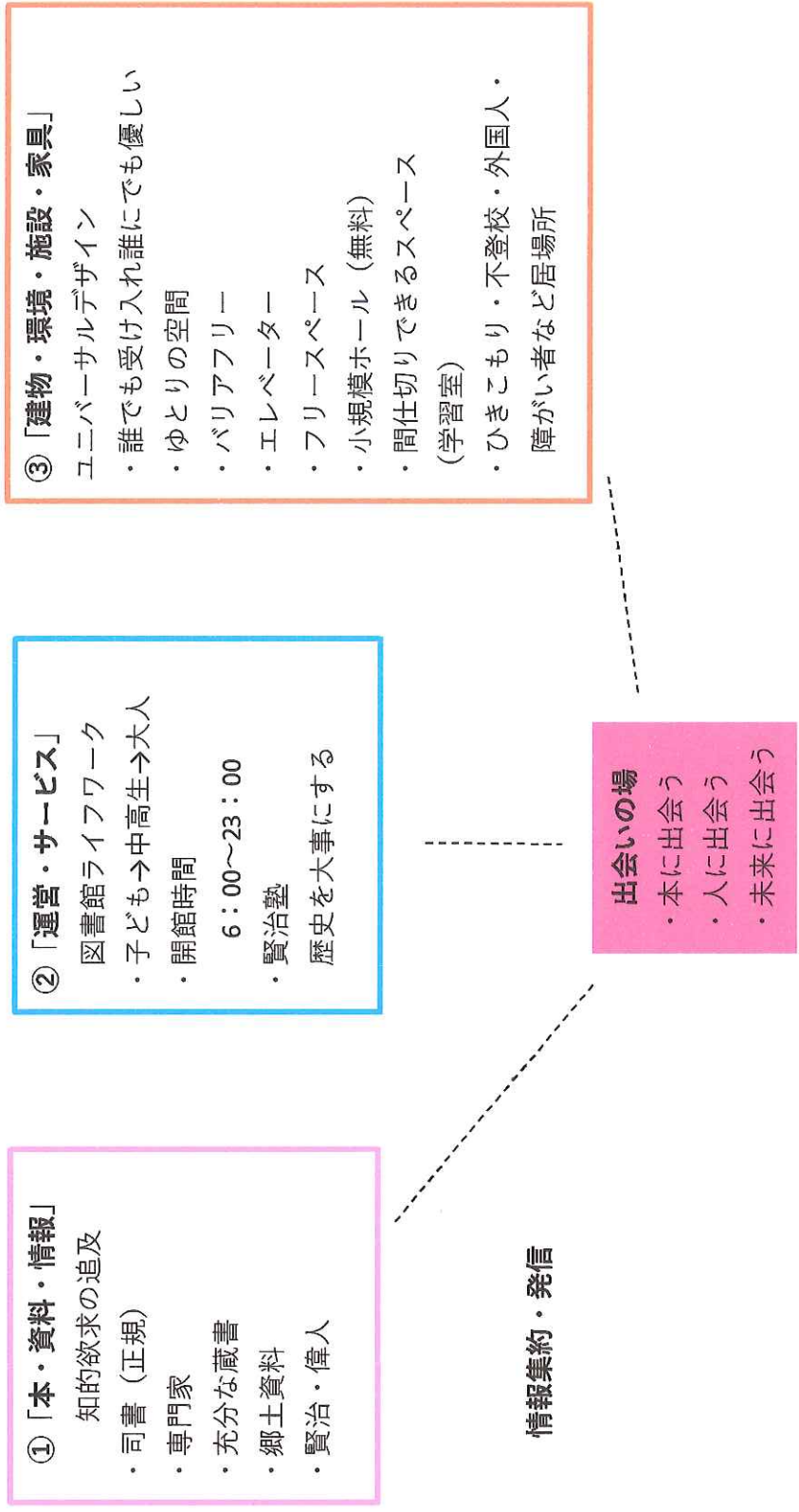
「目的を制限せずマルチに活動できる」

- ・利用しやすい
(文具購入、ユニバデザイン、カフェ、ICT など)

- ・滞在しやすい
(個室やグループで利用できるスペース、うたた寝可能、居場所 など)

- ・多目的
(美術ギャラリー、音楽スタジオ、野外ステージ、)

7班 新花巻図書館の「夢と理想」のために必要な重点



情報集約・発信

としょかんワークショップ 一般編 第4回 まとめ

- 日 時 2020年10月11日(日) 9:00~12:25
- 場 所 花巻市交流会館 交流スペース
- テーマ 「つくってみよう みんなのとしょかん①」
- 参加者 33名
- アドバイザー 富士大学教授 早川 光彦 氏

■当日の内容

グループワーク 前半

前回までの話し合いで導き出した「重点」を基に、新しい図書館に必要なサービス計画やサービスの内容について考え、文章化するところから始めました。一人で考えたあと、それぞれが文章化した内容を班ごとに共有しながら、アイデア同士をつなげたり、追加したりしながら班としてどんなサービス内容を挙げるのか、さらに話し合いを深めました。班のメンバーは基本的に前回と同じだったため、徐々にチームワークが発揮され、とても良い雰囲気で話し合いが進みました。



次に、話し合ったサービスが基本構想のどの項目に当てはまるのか確認しました。どの項目にも当てはまらない場合は、自分たちで新しい項目を考え、追加していきました。



ワンポイントアドバイス

前半終了後、アドバイザーの早川氏よりワンポイントアドバイスをいただきました。

- ・考え方の参考として、例えば「防音の個室が必要だ」というアイデアがある場合、次のように考

えることができます。「個人の価値を尊重した図書館を目指します。そのために 20 m²の防音の個室を 10 部屋設けます。」

- ・これから具体的なサービス計画を作っていく段階に入ります。今は市が最新の声を皆さんからお聞きしていることになります。
- ・「不易流行」という言葉があります。これから先も変わらないもの、そしてこれから先求められるもの。図書館は成長する有機体と言われますが、皆さんからの声が反映された建物が実現されていけば、建てた後もソフト面での事業展開が可能になると思います。
- ・みなさんから「チャレンジショップ」という案が出ていますが、可能性を提供できる図書館というのはとても素敵だなと思います。



グループワーク 後半

後半は前半に引き続き、サービスの内容を確認しながらアイデアを広げたり、追加したりしました。次回はこれまで考えてきた図書館のサービスや機能を発揮できる場所はどこか、どんな施設であればいいのかなどを話し合うため、今回が図書館サービスについて検討する重要な回となります。理想的なサービスを「見える化」するために、時間をかけてワークを行いました。最後に、各班で考えた内容を全体に向けて発表しました。どの班もこれまで考えてきた理想の図書館を実現させたい！という、熱がこもった発表となりました。

※各テーブルで出た意見やアイデアは、別紙「WSまとめ」をご覧ください。



講評

最後に早川氏より全体の講評をいただきました。

- ・皆さんが話し合っていたいただいたアイデアや意見は、今後 10 年間の図書館の方向性を示していると思います。
- ・ただし、それらを具現化していくため、職員に相当の力量が求められることは間違いありません。皆さんから意見も出ていましたが、館長の公募は必要と考えます。
- ・市には、ワークショップに参加されている皆さん自体が財産だという視点を持っていただきたい

です。「新しい図書館ができる」という機運を盛り上げていくために、ここに参加して下さっている方には新しい図書館の応援団となってもらって、今の時点からそういう活動を起こしていく必要があると感じます。

- ・ここで出た皆さんの考えを形にしていく段階に入ってきています。市にはぜひとも皆さんから出ている期待や願いに応えてほしいと思います。難しくなったら、ここにいる皆さんの力を借りればいいんです。皆さんと一緒に機運を盛り上げていければと楽しみにしています。

参加者のアンケートから

- ・私の班は、皆さんの雰囲気もとても良く、理想的な空気感で議論できました。きれいな言葉にしようとすると言いたい、含めたいことを書けなかったりするものですが、今まで議論してきたことをより具体化する時間は必ず必要だと思うので、今日の時間はとても有益だったと思います。
- ・「新しい発想」にもう少し重点を置けばいいのではないかと思いました。他の地域では出ないような、花巻市民ならではの発想がもっと出れば、ワークショップ自体の質も上がったと思います。
- ・前回の意見より具体的にということでしたが、言葉の表現を変えることで、また見えてくる部分がより深く感じる事が出来ました。
- ・発言を否定されないというところが、話しやすく『自分の図書館づくりに関わっている』という感じがとても良いと思いました。



次回（最終回）の内容

日時 令和2年10月25日（日） 9：00～12：00

場所 花巻市交流会館 交流スペース

テーマ 『つくってみよう みんなのとしょかん②』

これまで考えてきた図書館のサービス・機能を発揮できる場所や施設について考えます。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

「新花巻図書館整備基本構想」の整備方針に基づき、より具体的なサービス計画の内容を各班で考えました。(黒枠内は基本構想で定めた方針)

※3班については4つの整備方針に割り振りまでできませんでしたので、P20～から別途記載していません。

※今回のまとめは、発表されたものを中心に記載していますが、その他の記載されないメモなども計画素案の作成に活用させていただきます。

(1) 施設に関すること

●ユニバーサルデザイン(バリアフリーへの対応)

子どもから高齢者、障がい者、あらゆる利用者がバリアフリーで動きやすい、機能的、効率的な動線に配慮し、利便性や安全性を重視した施設とします。

(1班)

- ・老若男女が家に居るような感覚で利用できる多空間な部屋がある図書館を目指します。

(2班)

- ・長時間利用を考慮してWi-fiを完備すると共に、休憩のできるカフェスペースや図書購入のできる周辺書店と提携したオンラインショップを設け本をすぐ注文できる環境を整えます。
- ・利用者の年齢に応じて本棚の高さを変え、利用者別の空間(キッズコーナー等)を計画して利用者層の向上に努めます。
- ・お年寄りや身障者等でも利用しやすいように通路幅を広くし、要所要所に休憩ができるよう椅子を多く配置します。

(4班)

- ・自然豊かでみんながくつろげる利便性の高い立地で、緑を感じる建築(緑色のカーテン、屋上庭園、中庭)を取り入れ足の向けたくなる施設を目指します
- ・広い閲覧スペース、車いすがすれ違える書架、状況に応じて家具の配置を変えられる利用者の利便性を重視する施設を目指します。
- ・本棚や机のデザインなどに花巻らしさを取り入れ自然豊かでみんながくつろげる利用者の利便性を図る施設を目指します。

(5班)

- ・市民に広く開かれた「知の宝庫」を目指す為、ロボットやタブレット等の最先端技術を用いて、利便性向上を目指します。
- ・電子図書館を開設し、蔵書にどこからでもアクセス出来るようにすることで多様なニーズに応えます。
- ・ロボット等が出来る仕事は任せることで、図書館職員の仕事能率向上、そしておもてなしの向上につなげます。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

(6班)

- ・トイレやエレベーターなどユニバーサルデザインの施設を使いやすい位置に設置します。

(7班)

- ・すべての障がい者(身体、資格、聴覚、精神、知的…)のニーズに対応する。

●十分なスペースを確保

開架スペースはもちろん、資料はわかりやすく利用しやすく配置し、くつろいで読書や資料調査ができるよう十分なスペースを確保します。また、学習ができるスペースや図書企画を展示できるコーナーなどゆとりのあるスペースを設けます。

(1班)

- ・老若男女が家に居るような感覚で利用できる多空間な部屋がある図書館を目指します。

(2班)

- ・座席数やフリースペースを十分に確保し、それぞれのお気に入りの場所が見つかる、居心地のよい図書館をつくります。
- ・長時間利用を考慮してWi-fiを完備すると共に、休憩のできるカフェスペースや図書購入のできる周辺書店と提携したオンラインショップを設け本をすぐ注文できる環境を整えます。
- ・自由に話ができるスペースと静かに勉強できるスペースとを分け、どんな利用にも対応できるようにスペースを確保します。

(4班)

- ・自然豊かでみんながくつろげる利便性の高い立地で、緑を感じる建築（緑色のカーテン、屋上庭園、中庭）を取り入れ、足の向けたくなる施設を目指します。
- ・広い閲覧スペース、車いすがすれ違える書架、状況に応じて家具の配置を変えられる利用者の利便性を重視する施設を目指します。

(6班)

- ・児童・生徒への学習支援や求職者への就活支援、外国籍の人への学習・生活支援、スマホ・PC教室などの情報を提供し、支援を行う団体と提携します。
- ・トイレやエレベーターなどユニバーサルデザインの施設を使いやすい位置に設置します。
- ・会話やミーティングをしたり、子どもと利用できる個室スペースや、幅広い年齢の方に余暇やリラクゼーションのために利用できる感覚統合室(スヌーズレンルーム)を用意し、長時間滞在したくなる空間を提供します

(7班)

- ・児童書コーナーのほかに様々な体験ができる広いスペースをとる。
- ・絵画、音楽、舞踏…と本、多様な文化の交流ができる。
- ・立ち寄り、リフレッシュスペース(長居OK、居眠りOK)
- ・個人利用だけでなく、グループ学習にも対応できる設備

利用者のニーズに合わせて変更可能な空間作り

↓フレキシブルな活動に

可動式の机・仕切りの扉、ホワイトボード etc…

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

●先人や郷土資料のスペースを設置

先人達を顕彰し次の時代を担う子どもたちにその精神を継承するためにも、先人資料と郷土資料の充実を図り、紹介するコーナーを設けます。

(1班)

- ・後世に受け継げるよう、他施設との連携を密に行い、市民の人材を活かし、地域ならではの資料の充実を図ります。

●子どもスペースを設置

声を出しても迷惑にならない子ども向けのスペースや、子どもたちが楽しく読書ができ、調べものができるようなスペースを設置します。

(1班)

- ・老若男女が家に居るような感覚で利用できる多空間な部屋がある図書館を目指します。

(2班)

- ・長時間利用を考慮してWi-fiを完備すると共に、休憩のできるカフェスペースや図書購入のできる周辺書店と提携したオンラインショップを設け本をすぐ注文できる環境を整えます。

(4班)

- ・図書館+アルファの施設として、イベント広場、相談所、カフェ、子ども食堂など、どの人も安心して暮らせる環境をつくる施設を目指します。
- ・子どもが外でも遊べたり、雰囲気のあるところを設置することにより図書館を活気づけさせることができます。

(6班)

- ・児童・生徒への学習支援や求職者への就活支援、外国籍の人への学習・生活支援、スマホ・PC教室などの情報を提供し、支援を行う団体と提携します。

(7班)

- ・子どもから高齢者まで、年代ごとにコーナーを作る。(各年代に向けて発信する)

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

●防災、防犯対策、環境へ配慮

災害に対応できる適切な耐震性を確保するとともに、防犯対策にも配慮した施設設備とします。また、花巻市環境基本計画に基づき、自然エネルギーの活用を検討し照明器具や冷暖房設備等省エネルギーの施設とします。

(4班)

- ・災害に対応できるスペースがあるなど用途に応じた空間分けをすることにより、利用者が安心する空間がある施設を作ります。

●必要な駐車スペースを確保

本市は市域も広く自動車の利用者が多いことから、必要な駐車スペースの確保に努めるとともに、車いすや障がい者の利用にも配慮したスペースを確保します。

(2班)

- ・十分な広さの駐車場を整備し、立体駐車場の場合は、連絡通路を設置するなど利用者の利便性に努めます。
- ・また、駐車場にはイベント時に自由に利用できる場所を用意しておき、キッチンカーやマルシェなど地域と連携したイベントを開催します。

(5班)

- ・広い駐車場のみならず公共機関と接続しアクセスしやすい立地とします。

●施設の併設等の検討

市民のくつろぎと交流の場となるよう飲食スペースの設置など複合的な施設の併設も検討します。

(2班)

- ・長時間利用を考慮してWi-fiを完備すると共に、休憩のできるカフェスペースや図書購入のできる周辺書店と提携したオンラインショップを設け本をすぐ注文できる環境を整えます。

(4班)

- ・図書館+アルファの施設として、イベント広場、相談所、カフェ、子ども食堂など、どの人も安心して暮らせる環境をつくる施設を目指します。

(5班)

- ・あらゆる世代の市民が集い、学び、交流し、明るい地域を作るために、「図書館」の存在を大きな機会、チャンスと捉え、教育機関、産業、文化、地域団体と連携し、その多様性を発信・発展する、チャレンジショップなどの開かれた「場」を提供します。

(6班)

- ・児童・生徒への学習支援や求職者への就活支援、外国籍の人への学習・生活支援、スマホ・PC教室などの情報を提供し、支援を行う団体と提携します。
- ・誰もが利用できるギャラリースペース、音楽スタジオ、ステージやマーケットとして使える広場、コワーキングスペース(会議室、wi-fi、プリンタ等完備)を設置します。
- ・館内に物販を行う店舗を併設し、文具や図書館オリジナルグッズ、雑貨の販売と書籍の注文を行えるようにします。
- ・様々な特性のある人が利用できて、チャレンジショップとしての機能を持ったカフェを併設します。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

(1) 施設に関すること ※新しく出された項目

● 「ティーンズ向けスペース」

(1班)

- ・老若男女が家に居るような感覚で利用できる多空間な部屋がある図書館を目指します。

● 「花巻らしさ」

(2班)

- ・SLが見える一番のスポットとして図書館を整備し、賢治の作品をモチーフとした花巻らしい図書館をつくります。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

(2) 蔵書資料に関すること

●広い分野の収集

高度化する市民ニーズに対応するため、生活や暮らし、趣味に関わる資料のみならず、専門的な資料や地域の資料など広い分野の資料収集に努めます。

(2班)

- ・資格や進路に関係する資料や芸術関係などの実用的な本、ライトノベルや雑誌など世代のニーズに合わせた本を設置します。
- ・利用者が選書した本を紹介するスペースを設置して、利用しやすく資料をリクエストしやすい環境を整えます。

(4班)

- ・利用者の必要な色々な資料（ゲームやマンガなども）を欲しいに優劣をつけず、バラエティ豊かな蔵書を構築する図書館を目指します。

(5班)

- ・観光・市民生活・産業・歴史等「花巻市」を知るための情報の収集・提供に努め図書館から広がる花巻市を実現します。
- ・市民に広く開かれた「知の宝庫」を目指す為、ロボットやタブレット等の最先端技術を用いて、利便性向上を目指します。
- ・電子図書館を開設し、蔵書にどこからでもアクセス出来るようにすることで多様なニーズに応えます。
- ・ロボット等が出来る仕事は任せることで、図書館職員の仕事能率向上、そしておもてなしの向上につなげます。

(6班)

- ・市民活動、イベント、観光情報など市民の生活に役立つ情報を収集し、チラシ、パンフレット、SNS、広報、図書館だより等様々な媒体で広く発信します。
- ・児童・生徒への学習支援や求職者への就活支援、外国籍の人への学習・生活支援、スマホ・PC 教室などの情報を提供し、支援を行う団体と提携します。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

●先人や郷土資料を充実

先人や郷土に関する資料、本市行政資料など、本市に関わる資料の総合的な管理収集保存に努めます。

(1班)

- ・後世に受け継げるよう、他施設との連携を密に行い、市民の人材を活かし、地域ならではの資料の充実に努めます。

(2班)

- ・花巻へ訪れた旅行者が立ち寄って多くの偉人をワンストップで見ること・知ることを可能とします。
- ・宮沢賢治記念館・新渡戸記念館・高村光太郎記念館・博物館との役割分担を図り、中央図書館として、宮沢賢治関連資料は全て管理収集するよう努めます。

(4班)

- ・利用者の必要な色々な資料（ゲームやマンガなども）を欲しいに優劣をつけず、バラエティ豊かな蔵書を構築する図書館を目指します。

(6班)

- ・専門的な資料・データ・普段見ることができない貴重な資料が保存でき、アクセスがしやすいよう、デジタル化して提供します。

(7班)

- ・「賢治さん香るまちづくり」の市の方針に沿い、賢治や偉人達の紹介、講座、イベントを日常的(定期的)に行い、全国の賢治の学校の中心的存在。市民が編さんを行う花巻市史・地域史作りを支援して、歴史に親しむ図書館になる。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

●視聴覚資料や電子資料の活用

DVD等による視聴覚資料のみならずデジタルデータ資料の保存活用、インターネットを活用したデータベースなど新しい電子サービスに対応できる施設を目指します。

(5班)

- ・市民に広く開かれた「知の宝庫」を目指す為、ロボットやタブレット等の最先端技術を用いて、利便性向上を目指します。
- ・電子図書館を開設し、蔵書にどこからでもアクセス出来るようにすることで多様なニーズに応えます。
- ・ロボット等が出来る仕事は任せることで、図書館職員の仕事能率向上、そしておもてなしの向上につなげます。

(6班)

- ・専門的な資料・データ・普段見ることができない貴重な資料が保存でき、アクセスがしやすいよう、デジタル化して提供します。
- ・読み上げ機能や拡大機能を含む障がいがあっても誰でも閲覧できる形で提供します。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

(3) 運営に関すること

●利用しやすい開館時間

市民の就労形態やライフスタイルが多様化している中で、多くの市民が利用できるように開館時間を設定するとともに、休館日も同様の視点で検討します。

(1班)

- ・学生にはテスト期間にあわせる、社会人は勤務時間にあわせるなど、市民のニーズにあわせた利用しやすい開館時間に配慮します。

(2班)

- ・開館時間を朝6時から夜22時までとして様々な市民が利用しやすい「日本一」の開館時間を実現します。具体的には9時から17時までは図書館司書が対応し、それ以外の時間は職員が不在でも利用者自身で利用できるような環境を整えます。
- ・休館日0を目指す為に、蔵書点検を深夜の外部委託を行ない、本の保持の為にセキュリティを強化します。

(5班)

- ・24時間対応の予約本の受け取り返却や、夜間対応できる学習スペースを設けます。
- ・外国人の交流スペースの設置や情報提供など多文化共生に努めます。
- ・市民に広く開かれた「知の宝庫」を目指す為、ロボットやタブレット等の最先端技術を用いて、利便性向上を目指します。
- ・電子図書館を開設し、蔵書にどこからでもアクセス出来るようにすることで多様なニーズに応えます。
- ・ロボット等が出来る仕事は任せることで、図書館職員の仕事能率向上、そしておもてなしの向上につなげます。

(7班)

- ・図書館で朝活、仕事帰りのリフレッシュができる。(明かりを落とした図書館でもよい)

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

●利用者の視点

市民ニーズを把握するため、市民の意見を聞く機会を設けるとともに、図書館協議会等において協議しながら利用者の視点に立った運営に努めます。

(2班)

- ・資格や進路に関係する資料や芸術関係などの実用的な本、ライトノベルや雑誌など世代のニーズに合わせた本を設置します。
- ・利用者が選書した本を紹介するスペースを設置して、利用しやすく資料をリクエストしやすい環境を整えます。
- ・開館時間を朝6時から夜22時までとして様々な市民が利用しやすい「日本一」の開館時間を実現します。具体的には9時から17時までは図書館司書が対応し、それ以外の時間は職員が不在でも利用者自身で利用できるような環境を整えます。
- ・休館日0を目指す為に、蔵書点検を深夜の外部委託を行ない、本の保持の為にセキュリティを強化します。
- ・一度に借りられる冊数は10冊とし、調べ学習などたくさん借りたいときには申請に応じて、上限を撤廃します。
- ・座席数やフリースペースを十分に確保し、それぞれのお気に入りの場所が見つかる、居心地のよい図書館をつくります。
- ・長時間利用を考慮してWi-fiを完備すると共に、休憩のできるカフェスペースや図書購入のできる周辺書店と提携したオンラインショップを設け本をすぐ注文できる環境を整えます。
- ・自由に話ができるスペースと静かに勉強できるスペースとを分け、どんな利用にも対応できるようにスペースを確保します。
- ・利用者の利便性を考え、あらゆる交通機関で来館しやすいよう関係機関と連携していきます。
- ・観光客などが利用しやすいよう賢治記念館など市内の文化施設のアクセスを高めるため、循環バスを整備します。

(4班)

- ・出張図書館（駅、公共の場、振興センター、トヨタ）を開設し、ミニ文庫や図書館の利用案内を広報することにより利用者の入り口が増えることを目標とする施設とします。
- ・自然豊かでみんながくつろげる利便性の高い立地で、緑を感じる建築（緑色のカーテン、屋上庭園、中庭）を取り入れ足の向けたくなる施設を目指します
- ・広い閲覧スペース、車いすがすれ違える書架、状況に応じて家具の配置を変えられる利用者の利便性を重視する施設を目指します。
- ・乳児を抱えた母親が授乳できるスペースなど、各年代用途に応じた空間分けをすることにより、利用者の増加が見込まれる。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

(6班)

- ・読み上げ機能や拡大機能を含む障がいがあっても誰でも閲覧できる形で提供します。
- ・児童・生徒への学習支援や求職者への就活支援、外国籍の人への学習・生活支援、スマホ・PC 教室などの情報を提供し、支援を行う団体と提携します。
- ・誰もが利用できるギャラリースペース、音楽スタジオ、ステージやマーケットとして使える広場、コワーキングスペース(会議室、wi-fi、プリンタ等完備)を設置します。
- ・館内に物販を行う店舗を併設し、文具や図書館オリジナルグッズ、雑貨の販売と書籍の注文を行えるようにします。
- ・障がいのある方とのコミュニケーションを補助する ICT 機器を提供します。
- ・様々な特性のある人が利用できて、チャレンジショップとしての機能を持ったカフェを併設します。
- ・会話やミーティングをしたり、子どもと利用できる個室スペースや、幅広い年齢の方によかやリラックスのために利用できる感覚統合室(スヌーズレンルーム)を用意し、長時間滞在したくなる空間を提供します。

(7班)

- ・生涯を図書館と関わる。
- ・ライフワークを通して次世代・未来への芽を育む。
- ・「賢治さん香るまちづくり」の市の方針に沿い、賢治や偉人達の紹介、講座、イベントを日常的(定期的)に行い、全国の賢治の学校の中心的存在。市民が編さんを行う花巻市史・地域史作りを支援して、歴史に親しむ図書館になる。
- ・専門施設との連携を充実させサポートする。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

●図書館ボランティアとの協働

市民の意見を反映しつつ充実したサービスを提供するためにはボランティアとの協働が不可欠です。図書館ボランティアとの協働によるサービス提供に努めます。

(2班)

- ・学校図書館には無い資料を図書館や他の施設から貸出し、授業に活用してもらいます。また、図書館のさらなる利用増加につなげるため、学校図書館で貸出や利用の仕方、マナー等を覚えてもらいます。
- ・学校司書を一校に1人配置します。学校司書を配置することで、児童・生徒の本に対する興味を引き出し、教職員の授業補助、図書ボランティアの活動をスムーズにし、図書館司書や地域のボランティアとの連携を深めます。
- ・授業や長期休暇等の調べ学習に対応するデータブックリストやパスファインダーを学校司書と協力し、作成します。

(4班)

- ・図書館ボランティアが、自分の得意分野（案内、読み聞かせ、子供の相手など）で参加し、図書館に関心を持つような場を提供します。

(5班)

- ・あらゆる世代の市民が集い、学び、交流し、明るい地域を作るために、「図書館」の存在を大きな機会、チャンスと捉え、教育機関、産業、文化、地域団体と連携し、その多様性を発信・発展する、チャレンジショップなどの開かれた「場」を提供します。

(7班)

- ・専門施設との連携を充実させサポートする。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

●職員体制の充実

司書資格を持つ職員を計画的に配置するなど、職員体制の充実を図ります。また、専門的な知識を深め多様な年代、レファレンスサービス（相談・支援）に対応できるよう研修などにより職員の育成に努めます。

(1班)

- ・学生にはテスト期間にあわせる、社会人は勤務時間にあわせるなど、市民のニーズにあわせた利用しやすい開館時間に配慮します。

(4班)

- ・正規の司書、分野ごとの専任司書、また、専門技術を持った職員を充実し、2交代制などで開館時間を長くすることによるサービス向上を目指します。
- ・多様な方が利用しやすくするため、手話、外国語ができる職員を育成できる図書館を目指します。

(7班)

- ・選書などを専門家(司書)に相談できる。

(3) 運営に関すること ※新しく出された項目

●「地元企業・団体との協働」

(1班)

- ・職業体験やチャレンジショップを開催するなど若者と地元企業とをつなげ地域活性化への発展を目指します

(4) サービスに関すること

●レファレンスサービス（相談・支援）の充実

利用者の調査研究、課題解決に求められる資料や情報を的確に提供できるようレファレンスサービスの充実に努めます。

(4班)

- ・花巻のことを知りたい調べたい時、市で発行している広報・雑誌のバックナンバーや、様々な専門機関・団体の情報もあることにより、人のつながりができ定期的に人が集まる図書館を目指します。

(5班)

- ・観光・市民生活・産業・歴史等「花巻市」を知るための情報の収集・提供に努め図書館から広がる花巻市を実現します。
- ・24時間対応の予約本の受け取り返却や、夜間対応できる学習スペースを設けます。
- ・外国人の交流スペースの設置や情報提供など多文化共生に努めます。
- ・市民に広く開かれた「知の宝庫」を目指す為、ロボットやタブレット等の最先端技術を用いて、利便性向上を目指します。
- ・電子図書館を開設し、蔵書にどこからでもアクセス出来るようにすることで多様なニーズに応えます。
- ・ロボット等が出来る仕事は任せることで、図書館職員の仕事能率向上、そしておもてなしの向上につなげます。

(7班)

- ・選書などを専門家(司書)に相談できる。

●中央図書館としての機能

新花巻図書館は、市内全館の中央図書館としての役割を担う施設として、各館のサービスや事業の調整を図るとともに、学校図書館や全国の図書館との図書館ネットワーク連携の中核を担います。

(2班)

- ・学校図書館には無い資料を図書館や他の施設から貸出し、授業に活用してもらいます。また、図書館のさらなる利用増加につなげるため、学校図書館で貸出や利用の仕方、マナー等を覚えてもらいます。
- ・学校司書を一校に1人配置します。学校司書を配置することで、児童・生徒の本に対する興味を引き出し、教職員の授業補助、図書ボランティアの活動をスムーズにし、図書館司書や地域のボランティアとの連携を深めます。
- ・授業や長期休暇等の調べ学習に対応するデータブックリストやパスファインダーを学校司書と協力し、作成します。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

●情報発信を強化

利用者の拡大を図るために、若い世代やビジネスマンなどにも利用されるような図書企画に積極的に取り組み、広く情報発信に努めます。

(1班)

- ・家にも図書館にも、スマホやタブレットを利用して電子書籍等の資料の閲覧ができる設備をもうけます。

(2班)

- ・館内案内のわかりやすい検索機・タブレットを設置します。また、情報コーナーを設置して、本や図書館に関する情報の他、地域（市民・民間）イベント・文化施設関連の情報発信の強化に努めます。

(4班)

- ・出張図書館（駅、公共の場、振興センター、ト・ヨ・カド）を開設し、ミニ文庫や図書館の利用案内を広報することにより利用者の入り口が増えることを目標とする施設とします。

(5班)

- ・観光・市民生活・産業・歴史等「花巻市」を知るための情報の収集・提供に努め図書館から広がる花巻市を実現します。
- ・24時間対応の予約本の受け取り返却や、夜間対応できる学習スペースを設けます。
- ・外国人の交流スペースの設置や情報提供など多文化共生に努めます。

(6班)

- ・市民活動、イベント、観光情報など市民の生活に役立つ情報を収集し、チラシ、パンフレット、SNS、広報、図書館だより等様々な媒体で広く発信します。
- ・児童・生徒への学習支援や求職者への就活支援、外国籍の人への学習・生活支援、スマホ・PC教室などの情報を提供し、支援を行う団体と提携します。

(7班)

- ・子どもから高齢者まで、年代ごとにコーナーを作る。(各年代に向けて発信する)
- ・「賢治さん香るまちづくり」の市の方針に沿い、賢治や偉人達の紹介、講座、イベントを日常的(定期的)に行い、全国の賢治の学校の中心的存在。市民が編さんを行う花巻市史・地域史作りを支援して、歴史に親しむ図書館になる。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

●新たなシステムへの対応

インターネット等を使った検索や予約、閲覧など、新たな図書情報システムに対応できるように努めます。

(1班)

- ・多くのニーズに合わせて、オンラインでの利用ができるように高性能な Wi-Fi を設置します。
- ・家においても図書館においても、スマホやタブレットを利用して電子書籍等の資料の閲覧ができる設備をもうけます。

(2班)

- ・館内案内のわかりやすい検索機・タブレットを設置します。また、情報コーナーを設置して、本や図書館に関する情報の他、地域（市民・民間）イベント・文化施設関連の情報発信の強化に努めます。
- ・一度に借りられる冊数は10冊とし、調べ学習などたくさん借りたいときには申請に応じて、上限を撤廃します。

(4班)

- ・重度障害者の方や妊婦さんなど弱い立場の方々やその介護者が、先進的な機器や設備、広いスペースでやすらぎ、リフレッシュできる環境を提供する図書館を目指します。

(6班)

- ・専門的な資料・データ・普段見ることができない貴重な資料が保存でき、アクセスがしやすいよう、デジタル化して提供します。
- ・読み上げ機能や拡大機能を含む障がいがあっても誰でも閲覧できる形で提供します。
- ・障がいのある方とのコミュニケーションを補助する ICT 機器を提供します。

(7班)

- ・件名検索が可能なシステム

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

(4) サービスに関すること ※新しく出された項目

●「地域との連携」

(2班)

- ・学校図書館には無い資料を図書館や他の施設から貸出し、授業に活用してもらいます。また、図書館のさらなる利用増加につなげるため、学校図書館で貸出や利用の仕方、マナー等を覚えてもらいます。
- ・学校司書を一校に1人配置します。学校司書を配置することで、児童・生徒の本に対する興味を引き出し、教職員の授業補助、図書ボランティアの活動をスムーズにし、図書館司書や地域のボランティアとの連携を深めます。
- ・授業や長期休暇等の調べ学習に対応するデータブックリストやパスファインダーを学校司書と協力し、作成します。
- ・IT や農業、福祉など多分野にわたる民間企業とコラボしたイベントを開催したり、連携してシステムを構築します。
- ・また、若者が地元で働く将来を考えられるよう、企業や市とコラボしたイベントを開催します。
- ・利用者の利便性を考え、あらゆる交通機関で来館しやすいよう関係機関と連携していきます。
- ・観光客などが利用しやすいよう賢治記念館など市内の文化施設のアクセスを高めるため、循環バスを整備します。
- ・また、駐車場にはイベント時に自由に利用できる場所を用意しておき、キッチンカーやマルシェなど地域と連携したイベントを開催します。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

(3班)

①本・資料・情報「古・新あらゆる情報 正しい情報に早く十分にアクセスできる」

B-1、B-2、B-3

- ・自由に利用できる ICT 技術などを活用した情報・電子書籍を備えた古・新あらゆる情報につながる新たな時代の図書館とします。
- ・外部情報との連携を含め、電子書籍化により古い本を保存整理し、すぐにアクセスできる。
- ・市内情報、リアルな書籍も取り揃え、海外文献も翻訳されている。
- ・ICT、デジタル、電子書籍、あらゆる情報アクセス手段、市内外、海外情報、資料保存、「新たな時代の図書館（デジタルとアナログ、両方使いこなし、時代の変化に対応できる余白とスキル）」

②本・資料・情報「宮沢賢治観を表現した日本一の情報発信、収集」

B-1、B-2、B-3

- ・賢治専門のレファレンス司書
- ・賢治、資料の収集の充実(世界中の資料、研究書、批判本、アニメ漫画)賢治ライブラリー
- ・賢治関連の資料を観光資源（従来の消耗型観光ではなく、個人のかかわり方の多様性を保障した新しい発見や出会いの資源）として活用する、町づくり、人づくりの循環を生み出していく拠点に。

③運営・サービス「人材、顔となる人が優秀であること（スーパー人材、民間から）」

C-4

- ・職員体制の充実
- ・花巻市の図書館整備プロジェクトは図書館法に基づく通常の図書館ではなく、同法 13・15 条に記述ある“特定図書館”のような施設を指向している気配が濃厚である。このような形態の図書館はややもすると市長の胸先三寸の独善な図書館運営に陥りやすい危険性を孕む。そのような理不尽な圧力に屈せず公立図書館本来の目的や機能を全うする為には上意下達文化に毒された公務員でなく、カリスマ性を持つ圧倒的な力量を民間人から館長を起用する必要がある。また館長を支えるスタッフにも超人材を全国に広く求めて、利用者である花巻市民が理想とする図書館を実現せねばなるまい。

④運営・サービス「食と健康につなげられるサービス（おにぎりカフェ）」

A、D-3、D-4

- ・作りたて(あたたかい)のおにぎりなどの食べものを提供する店舗を設置し、利用者の食と健康(栄養管理に基づいた)をサポートします。
- ・地域の熱意ある高齢者や農家さんの協力を得ての社会参画、新たなコミュニティで心身の健康を啓発。コンビニの添加剤防腐剤食品から離脱。地域の食農の維持向上。朝昼夜、3度の食を大切にしてい暮らし。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

⑤建物・環境・施設・家具「場所は柔軟に選定（新興跡地）、アクセスの質も大事（車、歩行者、自転車、公共交通）、（行き返りの道も）楽しく安全」

A

- ・新興跡地は花巻城跡に位置する由緒ある場所。今は“夢の跡”。この地の有効利用を破棄した上田市政の“負の遺産”の復元を。往時の「東公園」がその適地
- ・感染症時代を生きる！社会的距離や快適で安全な密度が変わる、新しい物差しになる時代（鉄道が今後どうなるか）
- ・出会いの場⇔賑わい創出の限界

⑥建物・環境・施設・家具「防音の個室（グループ・単独両方）、お話も、静かさも」

A-7

- ・人数や用途に縛られず、様々なニーズに柔軟に対応できる約 20 m²の防音、電源、防火、水道、ガスつき（有料）、電源、防火を複数（10 か所くらい）つくります。
- ・そこで音楽、調理実験（新しい健康な食の研究）を時間を気にせず存分にやりたい。

⑦建物・環境・施設・家具「外との関連性のある、人と本が光る、美しい開放的で洗練された配置、配架、通路、照明」

A 全部、C3、D-2、D-3、D-4

- ・木陰と芝生（緑地はオガール広場並み）とテラス（Wifi、電源、給排水、照明など緑地との活動向け）と室内が一体でつながり、四季の美しさを感じながら本と人を照らす光、見通し、外構と室内を花巻ストーリーあるデザインにし、夜も冬も美しく。（死角がないこと、圧迫感がないこと）
- ・本は集中すべきところに集中（広すぎない）、ワンフロア。人の滞在箇所はたくさん。
- ・子どものための施設（保育園や産前産後ママ）、行政書庫と併設。
- ・花巻ストーリーとは：山と森と川に支えられた人の営み、歴史、文化、田園、たくましさで大らかさ、勤勉さのある花巻の人々
- ・美しさ、省エネ、エコは必須。これらが創造的活動のもと。それがないと続かない。

⑧建物・環境・施設・家具「成長する有機体であること」

A、B、C、D

- ・賢治は自らを「仮定された有機・交流電燈」と表現している。賢治本を一堂に集めることによって、「イーハトーブ」図書館も永遠に進化し続ける。そんな図書館を。

としょかんワークショップ 一般編 第4回 (10.11) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「重点」に引き寄せてサービス計画・内容を文章化

⑨新規「花巻市民だけでなく、来訪者、近隣の方にとっても有意義に滞在できる場」

A

- ・十分なスペースと多様な活動（1階：勉強、カフェ、物販、自由フロア、2階：本、3階：e-スポーツ、ガラス張り展望でS Lや街の風景など）
- ・花巻市民だけでなく、花巻にくる他市の人が勉強・滞在できる場所を増やす。若い世代だけでなく、高齢者も。安心して（集中して）いられる場所。Wi-Fi、エレベーター、個人スマホでの検索アプリ、貸出タブレット
- ・いろんな人の流入で新しい出会い、発見、刺激が生まれ、成長できる図書館

としょかんワークショップ 一般編 第5回 まとめ

- 日 時 2020年10月25日(日) 9:00~12:30
- 場 所 花巻市交流会館 交流スペース
- テーマ 「つくってみよう みんなのとしょかん②」
- 参加者 32名
- アドバイザー 富士大学教授 早川 光彦 氏
- 当日の内容

説明

最終回となる今回は、初めに、生涯学習部長からこれまで市が検討してきた建設場所や、複合施設の構想について説明を行いました。市では、立地適正化計画の都市機能誘導区域内で、まなび学園周辺と花巻駅東口周辺の7つの案を検討しています。どの場所でも延床面積は4,500㎡で、可能な限り2階建てを基準としています。それぞれの候補地に建設した場合の計画平面図や、駐車場台数などの整備計画、建設スケジュールなどをお話ししました。



また、令和元年1月29日に公表した、「新花巻図書館複合施設整備事業構想」として、駅前に住宅を含めた複合施設を公民連携で建設する構想について説明を行いました。この構想については、その後具体化するために必要な調査までは行っておらず、建設場所や複合施設等について今回のワークショップを含め、市民のみなさんからご意見を伺っていききたいというものです。

このワークショップでは、これまで参加者の皆さんが理想の図書館を話し合いながら、サービスや図書館の機能についても具体的な内容を積みあげてきました。今回はこれまで考えてきた図書館の機能が一番発揮される場所はどこか、7つの案に限らず、柔軟に考えていただきたいということで後半の話し合いに移りました。

※詳しい説明内容については、別紙「配布資料」や「詳細記録」をご覧ください。

グループワーク

これまでの話し合いで多くの班から「みんなが使いやすい図書館」というキーワードが出ました。子どもたち、学生、お母さん、高齢者、障がいを持っている方…どんな人でも来やすく、居心地がいい場所とするために、どこに図書館があったらいいのか。また普段は大迫、石鳥谷、東和の各地域にある図書館を使う人も、休日にゆっくり過ごしたり、高度な調べものをしたいときなどに、全市民が使える中央図書館として機能を活かせる場所はどこなのかなど、前回の話し合いの内容を振り返



りながら話し合いました。

最後に「まなび学園周辺」「花巻駅東口周辺」「その他」の大きく3つに分けて、各場所に建設した場合のメリットやデメリットなど、話し合った内容を発表しました。それぞれの候補地でよい点も課題となる点もあるものの、「図書館が魅力的であれば、場所はどこであろうと絶対に行く」、「市外に出た若者が帰ってきたときに、やっぱり花巻っていいなと思える図書館になってほしい」などの意見もありました。

※各テーブルで出た意見やアイデアは、別紙「WS まとめ」をご覧ください。

講評

その後、早川氏より次のとおり全体の講評をいただきました。

した。

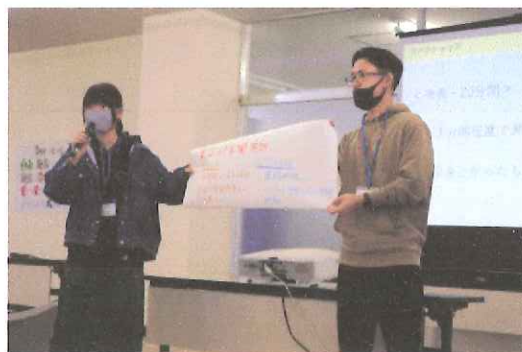
- ・今後、図書館の建設に求められる機能が幅広く網羅された意見やアイデアが出たワークショップとなりました。市も、参加者のみなさんからたくさんの選択肢を提案いただいたと思います。
- ・いくつもの自治体の図書館建設に関わってきましたが、これほどレベルの高いワークショップは初めてでした。
- ・このワークショップでは、これまで「図書館がこういうところであってほしい」「こういう機能を持った図書館にしたい」という話し合いを重ねたうえで、その図書館を実現するためにはどこの場所がいいか、という考え方で進めることができました。場所ありきではなく、一番望ましい形で議論をすることができました。
- ・参加者も市の職員も、全員で学びながら「いい図書館を実現したい」と一緒に取り組んできたこのワークショップは、花巻のこれからの図書館づくりに重要な役割を果たしていくと思います。

参加者のアンケートから

- ・今回のワークショップでは、様々な意見が出ましたが、求める、望むものの方向性は皆、同じ方を向いていたと思います。ぜひ、今までを踏まえて良い図書館ができたらいいなと思います。
- ・新しい図書館に対する参加者の気持ちのもりあがりを消さずに今後活かしてほしいです。
- ・どのようにワークショップの意見がとりあげられていくのか今後の進め方を見つけていきたいです。
- ・今後も協力しますので、すてきな図書館をいっしょに作りましょう！

今後の予定

今回のワークショップで話し合われた内容については市広報でも報告し、さらに各種団体との意見交換会を実施するとともに、市民の皆さまに任意で参加いただきご意見等をいただく市民意見交換会を11月末を目途に開催する予定です。その後「新花巻図書館整備基本計画」素案作成を経て、市民参画ガイドラインに基づく市民参画手続きを実施し基本計画の策定を目指していきます。市民意見交換会等の詳細は市広報やホームページで随時お知らせします。



としょかんワークショップ 一般編 第5回 (10.25) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「サービス計画」が活きる立地について考える

第4回のワークショップで各班ごとに考えたサービス計画が活きる立地について考え、それぞれの場所のメリットとデメリットを洗い出しました。

(1班)

《駅周辺》

●メリット

- ・観光案内にも役立つ
- ・アクセスが良い（温泉、高校のスクールバス） 駅利用の人が集まる
- ・観光客、車のない人にも利用できる
- ・アクセスしやすい
- ・観光案内
- ・塾がいくつもあるのでわからなかったら調べ物をしに行ける（スマホ以外の調査手段がある）
- ・SL 銀河が見れる（土曜日）→屋上がほしい
- ・地域の企業のセレクトショップ等は駅に近いほうがよい
- ・職業体験やチャレンジショップするなら若い人が集まりやすい
- ・夜も周辺が明るい

●デメリット

- ・駐車場が狭い（なはんプラザの利用者だけで満車になることも） 立体駐車場が怖いという人もいる
- ・駐車場と図書館が遠い
- ・駐車場が少ない 立体は？
- ・クランクになっている道路を変更できればいいのでは？

《まなび学園周辺》

●メリット

- ・伐採した松を新しい図書館に活用できる
- ・花小・花巻城が近い
- ・敷地が広い
- ・花巻城跡を散歩できる遊歩道などを整備すれば歴史を感じられる場所になるのでは？
- ・イトーヨーカドーが近いから寄り道気分で立ち寄れる→行くことに抵抗を感じない
- ・図書館が狭くなったら増設できる？
- ・駐車場が立体でない
- ・公園マルシェとかイベントができそう
- ・まなびでの生涯学習機能との連携

●デメリット

- ・〈花巻病院〉デメリットと思うのは、建物が奥にあるので（手前の駐車場が広い）行きづらい。誰でも利用しやすいとは言にくい
- ・夜だと夜道が暗くなるから来づらい

としょかんワークショップ 一般編 第5回 (10.25) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「サービス計画」が活きる立地について考える

- ・城跡地なので道路が複雑（道路がよくなればいいと思います）
- ・道路変えるのに時間がかかる
- ・〈花巻営林署〉周辺の整備に時間もお金もかかる オープンが遅れる

《その他の場所》

- ・ヨーカドー前（駐車場側）の空き店舗（？）の敷地が広そうですが。バスのアクセスもいいし、駅にも近い
- ・ヨーカドーの近くにあるつぶれたお店をもっとうまく活用したい
- ・場所はどこにしる、早いオープンを望む

としょかんワークショップ 一般編 第5回 (10.25) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「サービス計画」が活きる立地について考える

(2班)

《花巻駅周辺》

●メリット

- ・ 利便性・アクセスしやすさ
- ・ 駅利用者（特に学生など）が利用しやすい
- ・ 駅がバスのターミナルになっている＝ほかの場所にもアクセスしやすい
- ・ なはんプラザの近くにすることで音楽スタジオ等の利用も可能→図書館に十分なスペースがとれる！
- ・ 近くにホテルや食事できる施設があり、1日中いられる
- ・ 情報発信（特に賢治ファンの！）
- ・ SLが見られる1番のスポット
- ・ 各種イベントを行う場合参加しやすい
- ・ 街の顔になる、花巻らしい図書館
- ・ Wi-Fi 環境整備→特に旅行者に使いやすい
- ・ 多くの偉人をワンストップで見られる・知れる
- ・ その他
- ・ 駅前が明るくなる！
- ・ 災害時の避難場所にもなる
- ・ 駅の橋上化により西口からのアクセス便利になる
- ・ 他にもいろいろありますが…駅前に建てたほうがまちの発展につながる！→花巻の未来につながる★

としょかんワークショップ 一般編 第5回 (10.25) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「サービス計画」が活きる立地について考える

(3班)

《駅前周辺》

●メリット

- ・電車利用者
- ・学生が利用しやすい
- ・市街利用者の利用
- ・宮沢賢治観光アピール
- ・多様性が生まれる

●デメリット

- ・車での利用 (駐車場)
- ・1階空間利用
- ・3密 ソーシャルディスタンスの問題
- ・市街地活性化の前提が変わっている
- ・コストパフォーマンスの排除

《振興跡地 (東公園)》

●メリット

- ・由緒ある場所
- ・花巻城跡地・桜並木
- ・宮沢賢治の遊歩道
- ・元は市の所有地
- ・周辺の敷地が広く、緑多い

●デメリット

- ・交通 アクセスの問題
- ・民間所有者多い (パチンコ屋、不動産)

《まなび周辺》

●メリット

- ・スペースは広い
- ・いろいろな活用

●デメリット

- ・病院跡地のため建設に時間がかかる
- ・立地配置が難しい
- ・道路問題

※魅力ある場所ならどこでも行く! (お金も続くこと!!)

としょかんワークショップ 一般編 第5回 (10.25) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「サービス計画」が活きる立地について考える

(4班)

《まなび学園》

●メリット

- ・緑が多い 自然や虫の声を感じられる
- ・まなび学園が近い→連携が取りやすい (こどもセンター、学習スペース)
- ・静かで過ごしやすい
- ・歴史のある土地 花巻大空襲 (先人の記憶を受け継ぐ)

●デメリット

- ・周辺が暗く、夜間が心配→街灯を増やして明るくしてほしい!
- ・道路が入り組んでいて通行が不便→交通整理の充実!

《駅前》

●メリット

- ・アクセスが良く、人が集まりやすい
- ・電車通学・通勤の人が利用しやすい
- ・観光客も利用しやすい

●デメリット

- ・交通量が多く、危険→なはんプラザのイベント時に混雑 子ども一人では危ない!
- ・まなびと比べて緑が少ない→屋上庭園などの建築 これから育てていく
- ・騒音問題 (車・電車) →防音機能を強化 施設内の配置を工夫

としょかんワークショップ 一般編 第5回 (10.25) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「サービス計画」が活きる立地について考える

(5班)

《花巻駅東口》

●メリット

- ・ふらっと立ち寄れる (観光客 & 電車待ちの人)
- ・若い人の行動範囲内にある

●デメリット

- ・せまい (道路も駐車場も) (坂とガケ)

(でも、本当は駅西口がいいな)

《まなび学園周辺》

●メリット

- ・駐車場が広くとれる
- ・まなび学園行事などとの連携

●デメリット

- ・道路が狭い
- ・ふらっと立ち寄る人の利用がない

(でも、どうせならまなび学園を壊して新しい図書館を…。)

《その他》

- ・西口の公園
- ・西大通りの沿線の土地 (北東金属グラウンド)
- ・大堰川プロムナード沿い (川沿いに歩いて見る図書館)
- ・文化会館と一体化したホールのある図書館
- ・まんぶく跡地
- ・エセナ跡地
- ・花巻市交流会館→飛行機が見える図書館 (4市町の真ん中地点)
- ・なはんプラザを図書館化

としょかんワークショップ 一般編 第5回 (10.25) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「サービス計画」が活きる立地について考える

(6班)

《まなび学園体育館》

重点：「目的を制限せずにマルチに活動できる」

→それを達成しやすい場所としての「まなび学園体育館」案

●メリット

- ・ 十分なスペースがある カフェ、ショップ、ギャラリーなどを併設できる (広場周辺)
- ・ まなび学園の施設や機能と連携しやすい こどもセンター、風の子学園、スタジオ等
- ・ 市役所・イトーヨーカドー・(城跡)公園が近い
- ・ 駅からの人の流れで途中の市街地も活性化できる

●デメリット

- ・ 体育館がなくなる→病院跡地に新設が考えられる
- ・ アプローチ道路が狭い
- ・ 合同庁舎で見通しが悪い→合同庁舎を取り壊し移転もしくは図書館と合体させる

《その他》

- ・ ヨーカドー東側ホームック跡地
- ・ 業務スーパー北側空き地
- ・ イギリス海岸詩の森公園周辺
- ・ 交流会館

としょかんワークショップ 一般編 第5回 (10.25) ワークまとめ

前回のワークショップで出された「サービス計画」が活きる立地について考える

(7班)

《まなび周辺》

●メリット

- ・広い
- ・緑がある
- ・生涯学習・こどもセンター連携
- ・静か

●デメリット

- ・駅から遠い
- ・道路が複雑・せまい
- ・バス利用が難しい

《駅周辺》

●メリット

- ・利用しやすい (公共交通) (始発→終点)
- ・駅に近い (学習スペースができる)
- ・交流ができる
- ・なはんプラザ活用可

●デメリット

- ・騒音 (コロナ禍で人が集まりすぎ?・電車)
- ・駐車しにくい (立体駐車場)
- ・緑がない
- ・密集した空間

《他 なはんプラザ活用》

●メリット

- ・駅周辺 (メリット・デメリット)
- ・プラザを有効活用
- ・予算・建設費
- ・情報発信基地
- ・「出来ること」すぐ実現

●デメリット

- ・広さ?
- ・築30年

《他 現図書館 (振興センター土地利用) 》

花巻市立図書館資料収集方針

花巻市立図書館資料収集方針（平成21年3月25日）を次のとおり全部改正する。

1 目的

この方針は、花巻市立図書館の資料の収集、選定について基本的な方針を示し、花巻市の市立図書館全体として、より充実した蔵書を構築することを目的としたものである。

2 基本姿勢

公共図書館は、市民の教養・文化・情報のための民主的な機関として存在する（「1994年ユネスコ公共図書館宣言」）。また、基本的人権のひとつである知る自由をもつ市民に、資料と施設を提供することを最も重要な任務とする社会的機関である（「図書館の自由に関する宣言」1979年改訂 日本図書館協会）。

この理念のもとに花巻市立図書館は、「図書館法」（昭和25年法律第118号）に基づく公立図書館として、すべての市民の教育と文化の発展及び情報提供の向上に資するために、資料収集を行う。

(1) 基本的な考え方

資料収集にあたっては、以下のことに留意する。

- ① 市民の知る自由を保障する機関として、多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点にたつ資料を幅広く収集する。ただし、人間の尊厳を著しく傷つけるものや、公共の場にふさわしくないものは除く。
- ② 著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
- ③ 個人、組織、団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり、紛糾をおそれての規制はしない。
- ④ 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようとも、それを図書館及び図書館員が支持するものではない。
- ⑤ 資料の収集、提供に携わる図書館員は、自律的規範としての「図書館員の倫理綱領（日本図書館協会 1980年6月4日総会決議）」を尊重して、その職務を遂行する。

3 資料収集の方法

- (1) 資料は、新刊案内、出版目録、書評、リクエスト等、多様な情報に基づいて選定し、購入、寄贈等の方法により収集する。
- (2) 各資料の形態及び収集の方法は、社会情勢の変化に柔軟に適応し、変更できるものとする。

4 資料収集の分担及び特徴

資料収集の分担及び特徴については、次のとおりとする。

- (1) 花巻市立図書館の各館において、それぞれの役割と機能に応じた蔵書構成に留意するとともに、花巻市立図書館全体の体系的な資料の充実を図る。
- (2) 花巻図書館及び各館（以下「各館」という。）は、以下のとおり地域の特徴を生かした資料を収集する。
 - ① 花巻図書館：宮沢賢治を中心とした花巻市にゆかりのある先人等の著書、研究資料等。（高村光太郎、新渡戸稲造、山折哲雄、柏葉幸子等）
 - ② 大迫図書館：早池峰山、早池峰神楽等の、山岳や神楽、民俗芸能に関する資料等。
 - ③ 石鳥谷図書館：南部杜氏及び南部杜氏に関連した酒に関する資料等。
 - ④ 東和図書館：萬鉄五郎等の芸術に関する資料等。

5 資料選定の方法

資料選定の方法は、次のとおりとする。

- (1) 各館の資料の選択については、各館の職員で協議し、各館の図書館長が決定する。
- (2) 花巻市立図書館全体に関わる資料については、各館の担当で構成する選書会議で協議し、館長会議で決定する。

6 資料の種類と範囲

この収集方針に基づいて、資料別の選定基準を別に定める。

7 資料の更新及び保存

資料の更新及び保存については、次のとおりとする。

- (1) 各館は、常に適切な資料構成を維持し、充実させるために資料の更新を行う。
- (2) 地域資料及び貴重な資料等は、適切な資料形態による整理を行い、その保存活用を図る。

8 その他

この収集方針は、必要に応じて随時見直しを行うものとする。

附 則

この方針は平成21年3月25日から施行する。

附 則

この方針は平成26年1月1日から施行する。（全部改正）

花巻市立図書館資料選定基準

この基準は、花巻市立図書館資料収集方針（平成26年1月1日全部改正）の6の規定に基づき、花巻市立図書館資料選定基準（平成21年4月1日制定）を次のとおり全部改正し、資料選定の際の根拠とする。

I 資料全般

資料は、総則に始まり「日本十進分類法（NDC）」（*注）の各「類」ごとに、その「類」に総じて適用される基準について箇条書きし、その後「綱」「目」表に沿って各「綱」中の特徴的もしくは必須項目について記述した。したがって、記述のない項目は類ごとの総則的基準により選定する。

外国語資料、逐次刊行物、図書以外の印刷資料、非印刷資料などの選定基準については、環境の変化や時代の要請を見極めながら、随時見直すものとする。

注：日本十進分類法（NDC）とは、全国の図書館業務において、資料の構築・整理・検索・提供に関わる最も基本的な標準分類法です。（NDC=Nippon Decimal Classification）

1 共通事項

- (1) 各分野の基本資料（事典、辞典、便覧、白書、年鑑、図鑑、年表、統計、法令、書誌、入門書、全集等）は、使いやすく内容の充実したものを選定する。
- (2) 各分野にわたり、花巻市、岩手県及び郷土にゆかりのある先人等に関わるものは優先的に選定する。
- (3) 進歩が著しい分野の資料は、最新の情報に留意して選定する。
- (4) 文学賞等、各種の賞を受賞したものは、優先的に選定する。
- (5) 文化・教育関連団体の推薦図書は、優先的に選定する。
- (6) 所蔵している資料の改訂版、増補版、新訂版等は、利用動向等に留意し選定する。
- (7) 全集、シリーズで所蔵している資料は、欠本のないよう選定する。
- (8) 人権やプライバシーを侵害するおそれのある資料等は、研究目的の利用も有り得るので、保存方法や提供方法を含めて、慎重に検討して選定する。

II 一般図書資料

0類 総記

- (1) 情報科学、コンピュータ関係の資料については利用度の高い基本的技術書・実用書を中心に選定する。
- (2) 初心者向けの入門書等はわかりやすさ、字の大きさ等形態も考慮の上、利用し易い最適な資料を選定する。
- (3) 長期間にわたり、広く利用されると思われる主要な叢書・全集については、基本図書として体系的に選定する。

000 総記

- ・知識、学問及び情報科学については最新の情報が得られ、なおかつ各時点の水準が分かる資料を選定する。

010 図書館

- ・入門書、解説書を中心に基本的な資料を体系的に選定する。
- ・近隣の図書館及び関連機関が発行した資料は積極的に選定する。

080 叢書・全集・選集

- ・単行書として発行されたものと内容を比較検討しながら選定する。

1類 哲学

- (1) 哲学・心理学・倫理学・宗教学等については特定の思想・宗派に偏ることなく、各分野にわたり基本的資料を幅広く選定する。
- (2) 入門書、概説書、解説書等についても広く選定する。

100～110 哲学・哲学各論

- ・古典だけでなく現代の哲学者の著作も積極的に選定する。

120 東洋思想

- ・日本の思想書及び中国の古典哲学書、インド思想書を中心に選定する。

130 西洋哲学

- ・著名な哲学各派の代表作を中心に選定する。

140 心理学

- ・複数の学問領域にわたる新しい研究にも留意して選定する。

150 倫理学・道徳

- ・名言集、人生訓及び著名な著作を選定する。

160～190 宗教

- ・主要な教典及び概説書、研究書を積極的に選定する。
- ・各宗教の体系性に留意し、時代・宗派の偏りがないように選定する。

2類 歴史

- (1) 一般向けに書かれた読み物をはじめ、入門書、解説書、研究書まで、偏りのないようさまざまな観点にたつ資料を選定する。
- (2) 通史・全集・時代別史料等基本的史料に関しては、資料的価値が高いと認められるものを中心に幅広く選定する。
- (3) 日本及び各国の情勢、旅行案内書等については、最新情報を提供できるように幅広く選定する。

210 日本史

- ・多様な水準、多様な観点の資料を選定する。
- ・地方史はおおむね県単位で収集する。特に、岩手県及び近隣県の資料は重点的に選定する。
- ・地方出版の資料にも留意し、各自治体史を中心に選定する。

220～270 各国史

- ・各国史は、特に出版量の少ない国や地域も含め、各国の資料を揃えることに留意して選定する。

280 伝記

- ・伝記は日本人、外国人とも幅広く選定する。
- ・現代の伝記も積極的に選定する。

290 地理・地誌・紀行

- ・地図類は用途に応じて各種のものを、可能な限り新しい版で選定する。地形図の選定にも留意する。
- ・旅行案内等は、最新版に留意し、国内国外を問わず幅広く選定する。
- ・岩手県及び花巻市近隣市町村の資料は積極的に選定する。

3類 社会科学

- (1) 社会科学はバランスよく、できるだけ客観的な立場から書かれている資料を選定する。
- (2) 各分野の基本的な資料を体系的に選定する。
- (3) 実用書は、新しい資料を数多く選定する。
- (4) 時事性、話題性のある資料は、積極的に選定する。
- (5) 国の主要な審議会答申や報告書、統計書などの政府刊行物は積極的に選定する。

300 社会科学

- ・主要な主題の資料は、積極的に選定する。

310 政治学

- ・政治思想、議会・政党等多様な観点の資料を幅広く選定する。

320 法律

- ・法律書は法改正に伴い、随時資料を更新する。
- ・各分野の基本書、多様な学説の資料を選定する。

330～340 経済学・財政

- ・入門書、実用書から、古典的な著作まで体系的に選定する。
- ・経済理論は古典から現代経済にいたるまで多様な学説の資料を選定する。
- ・経済政策、経済事情については、最新情報の提供に留意する。

350 統計

- ・各種統計の他に、基礎的な理論書も選定する。

360 社会学

- ・社会体制や社会政策等は、著者や話題性に留意し、選定する。
- ・実用書についても幅広く選定する。

- ・制度の改変に配慮し、最新情報の提供に留意する。

370 教育

- ・花巻市内にある小・中・高校が採択した教科書は積極的に選定する。
- ・家庭及び学校教育に関する実用書や専門書等も積極的に選定する。
- ・社会教育の観点からの資料も幅広く選定する。

380 風俗習慣・民族学

- ・主要な全集、講座、著名な著作集は積極的に選定する。
- ・衣食住や社会・生活の習俗は積極的に選定する。
- ・冠婚葬祭については、実用的で新しい資料を積極的に選定する。

390 国防・軍事

- ・時事性、話題性のある資料は積極的に選定する。

4類 自然科学

(1) 科学の進歩にあわせ、常に新しい情報資料を選定する。

(2) 医療・健康法に関する資料については、内容の信頼性に十分留意して選定する。

410～440 数学・物理学・化学・天文学

- ・最新の学問の傾向に留意して選定する。

450 地球科学・地学

- ・地震・津波などの自然災害について、岩手県内や近隣地域の専門書なども積極的に選定する。

460～480 生物学

- ・図鑑など調査・研究に役立つ資料は積極的に選定する。

490 医学・薬学

- ・医学と医学倫理に関する分野は、一般教養的な資料から専門書にわたって選定する。
- ・民間療法や新しい治療法等は、客観性・科学性・信頼性等に留意して選定する。

5類 技術・工学

(1) 各分野に関する基本的理解を深め、知識を得るために必要な資料を中心に選定する。

(2) 技術工学系は、その進歩発展に対応した資料を選定する。

(3) 企業の動向・業界の情勢等、ビジネスに役立つ資料を積極的に選定する。

510 建築工学・土木工学

- ・ゴミ問題、公害や自然保護などの資料は、積極的に選定する。

530～540 機械工学・電気工学

- ・原子力の利用法については、様々な観点の資料を幅広く選定する。
- ・通信技術やコンピュータの分野の資料は最新情報の提供に留意する。

590 家政・生活科学

- ・生活に役立つ多種類の実用的な資料を選定する。

6類 産業

- (1) 法令の制定、改廃及び産業動向に留意して選定する。
- (2) 各種産業、企業動向、情報等ビジネスに役立つ文献資料を積極的に選定する。

610～620 農業経済・園芸

- ・社会的関心の高いもの及び実務に活かせる資料に留意して選定する。

640～650 畜産・林業

- ・新しい研究成果、技術及び産業動向に留意して選定する。

670～680 商業・運輸

- ・実務や実用に役立つ資料を幅広く選定する。

7類 芸術

- (1) 美術・音楽・スポーツ・娯楽に関する鑑賞・評論及び、その制作・技術の両面について幅広く選定する。
- (2) 時事性・話題性の強い人物や、作品も選定する。
- (3) 新しい分野についても積極的に選定する。

700 芸術

- ・古典から現代までの多様な資料を選定する。

710～750 彫刻・絵画・書道・版画・写真・工芸

- ・各分野の基本書は、体系的に選定する。
- ・いろいろな技法・機材の資料を、豊富に選定する。
- ・収蔵目録・展覧会の図録・画集・写真集等は積極的に選定する。

760 音楽・舞踊

- ・邦楽、民族音楽等にも留意して、幅広く選定する。
- ・楽譜や、楽器の演奏方法に関する資料も選定する。

770 演劇・映画

- ・古典芸能に関する資料は、積極的に選定する。
- ・学校や地域で、上演するために役立つ資料も選定する。

780 スポーツ・体育

- ・ルールの改編及び最新の動向に留意して選定する。
- ・スポーツ団体、学校、社会教育団体の指導や研究に役立つ資料も選定する。

790 諸芸・娯楽

- ・茶道・花道等、各流派の歴史、理論、作法、道具についての資料を選定する。

8類 言語

- (1) 日本語に関する知識教養・言語の学習・実用に役立つ資料を幅広く選定する。
- (2) 外国語習得のための初歩的資料・日常会話集等も幅広く選定する。特に、花巻市の国際交流先の国の言語について、留意して選定する。

810 日本語

- ・文法・作文・会話・方言等の資料も積極的に選定する。

820 中国語・東洋の諸言語

- ・日本に身近な諸言語を中心に選定する。

830 英語

- ・著名な作品及び学習用の資料も選定する。

840～890 その他の言語

- ・出版量の少ない言語についても留意して選定する。

9類 文学

文学については、「綱」「目」の分類に寄らず以下のとおり選定する。

- (1) 国、時代、分野、著作等に偏りのないよう配慮し、幅広く選定する。
- (2) ベストセラー等の新刊書については、利用状況に応じ複本の受入にも留意する。
- (3) 文学全集・個人全集については、幅広く選定する。
- (4) ロングセラーの文学作品については、長期的に常時提供できるよう補充に努める。
- (5) 古典文学及び文学史・作家論等文学研究に関する資料は、体系的に幅広く選定する。
- (6) 文庫でしか出版されない作品も多いので、留意して選定する。
- (7) 文学作品については、以下の点に留意して選定する。
 - ・現代の小説、エッセイは、幅広く選定する。
 - ・詩歌、戯曲は、主要な作家のものを中心に選定する。
 - ・翻訳作品は、訳の相違に留意する。
 - ・古典の注釈書、解釈書は、幅広く選定する。また、底本（写本や複製本の原本）の相違に留意する。
 - ・復刻（影印）本は、原本の特色に留意して選定する。

III 参考図書

通読を目的とせず、主として特定の知識、情報を得るための資料を「参考図書」とし、常に利用者が調査、研究ができるように留意して選定する。

- (1) 改訂版に留意し、最新の情報を提供できるように選定する。
- (2) 参考図書は、各分野の専門的かつ網羅的な資料を中心に選定する。
- (3) 年鑑、白書類は、継続的に選定する。
- (4) 百科事典は、最新の資料を選定する。
- (5) 新聞の縮刷版は可能な限り選定する。
- (6) 製本、装丁が堅牢で、長期の利用に耐える図書を選定する。

IV 児童書

図書資料のうち、乳幼児及び青少年の利用を目的に編集された資料を「児童書」とし、以下の点に留意し、各分野において幅広く資料を選定し、収集するように努める。

1 共通事項

- (1) 資料の内容は日本十進分類法（NDC）の全類を対象とする。
- (2) 国内外の作家の作品を幅広く選定する。

- (3) 内容が正確で、客観的な視点から書かれた資料を選定する。
- (4) 興味本位に扱ったものや、異常な怪奇性、残虐性のあるものは選定しない。
- (5) 乳幼児及び青少年のそれぞれの理解力にふさわしい内容の資料を選定する。
- (6) 昔話は、適切な再話、翻訳であることに留意し選定する。また、伝説、神話は、各国各地方にわたり幅広く選定する。
- (7) 新しい知識、知見や研究動向を紹介した資料、各種のデータが最新で、出典が明記された資料を選定する。
- (8) 内容を理解する上で効果的な図、写真、イラストレーション、表、グラフを含む資料を選定する。
- (9) 使いやすく、調べやすい目次や索引を備えた資料を選定する。
- (10) 各主題について、乳幼児及び青少年の興味や関心を引き起こし、さらに発展させる内容の資料を選定する。
- (11) 学説や主張が対立する主題については、それぞれの観点に立った資料を偏りなく選定する。
- (12) 観察、見学、実験、実習、創作、実演の記述を含む資料は、青少年に実行可能な、また安全性に問題がないものを選定する。
- (13) 異文化への理解を深め、国際感覚を養える資料を選定する。
- (14) 正確で美しい言葉で書かれた資料を選定する。
- (15) 改訂版、増補版に留意する。
- (16) 学習参考書、試験問題集は原則として選定しない。

2 図書

- (1) 原則として「児童書」として出版されたものを選定する。ただし、「一般図書」として出版されていても、乳幼児及び青少年が関心を持って読むことができるものは、選定の対象とする。
- (2) 原則として全文全訳のものを選ぶ。
- (3) 各種の受賞作品や評価の定まったものを中心に選定する。
- (4) 友情、恋愛、進路、生き方等をテーマにした資料をヤングアダルト用として幅広く選定する。
- (5) 利用に見合った複本を用意する。

3 絵本・紙芝居

- (1) 乳幼児及び青少年の発達段階に適した主題、内容の資料を選定する。
- (2) 表現が豊かで、子どもの想像力、空想力を養うのに十分な資料を選定する。
- (3) 絵が文章と調和して、作品中で大きな役割を担っている資料を選定する。
- (4) アニメ、テレビ、ゲーム、映画作品を原作とする資料は内容に配慮して選定する。
- (5) 読み聞かせ等にも対応できることに留意する。
- (6) 装丁や材質等が図書館の利用に適した資料を選定する。

V 郷土資料

花巻市、岩手県及び岩手県内の他の市町村(一部県外の市町村も含む)に関する事物及び人物を扱った図書を「郷土資料」とし、各分野において幅広く資料を選定し、収集するように努める。

- (1) 花巻市に関する資料を以下の点に留意して選定する。
 - ①花巻市及びその外郭団体の発行した資料。特に花巻市が発行する行政資料については、網羅的に選定する。
 - ②花巻市に所在する国及び岩手県の機関又はそれに準ずる機関の発行したもののうち必要な資料。
 - ③花巻市に在住する個人及び所在する団体が、著作又は発行したもののうち必要な資料。
 - ④内容の大部分が花巻市に関する資料。
 - ⑤花巻市の姉妹都市及び友好都市等との交流に関連した資料。
- (2) 花巻市を除く岩手県に関する資料を以下の点に留意して選定する。
 - ①岩手県及びその外郭団体の発行した資料。
 - ②内容の大部分が岩手県全般に関する資料のうち必要なもの。
 - ③岩手県内の市町村及びその外郭団体の発行した資料のうち必要なもの。
 - ④内容のうちすべて又は大部分が岩手県内の市町村に関する資料のうち必要なもの。特に花巻市近隣の市町村には留意して選定する。
- (3) その他の資料は、収集にあたっては以下の点に留意して選定する。
 - ①図書以外の資料も積極的に収集する。雑誌、パンフレット、リーフレット、地図、新聞、ハガキ、視聴覚資料などがこれにあたる。また、冊子体になっていない資料についても、必要に応じて整備して提供するように努める。
 - ②古文書、古地図等の史料にも留意して選定する。ただし、博物館・美術館等での収集が適当とみなされる史料は選定しない。
 - ③ある特定のテーマについて重点的に収集する必要がある場合は、地域的な範囲に限定しないこともある。
 - ④資料の散逸を防ぐため、なるべく複本を揃える。

VI 外国語資料

主な記述が日本語以外の言語による資料を「外国語資料」とし、各分野において幅広く収集するように努める。ただし、出版地を問わない。

- (1) 各国及び日本についての新しい情報や知見を提供する資料に留意して選定する。
- (2) 英語をはじめとする欧米諸言語、日本に身近なアジア諸言語、その他花巻市立図書館において利用の見込める言語の資料を選定する。
- (3) 事典・辞書等の基本資料は、代表的なものを幅広く選定する。
- (4) 日本の文化や慣習等を紹介する資料は、利用動向に留意して幅広く選定する。
- (5) 各国の歴史や文化・言語等、国際理解のための資料も、幅広く選定する。特に花巻市の国際交流先の国の資料について、留意して選定する。

VII 逐次刊行物(図書)

刊行の終りが予定されず、一つの標題のもとに継続刊行される図書(文庫、新書等出版社シリーズは除く)を「逐次刊行物(図書)」とし、各分野において幅広く資

料を選定し、収集するように努める。

なお、その具体的な種類は、以下のとおりとする。

- (1) 年鑑、年報、年次報告書
- (2) 白書（政府及び民間刊行）
- (3) 統計
- (4) 法令集、判例集
- (5) 新聞縮刷版
- (6) その他

1 共通事項

- (1) 豊富な情報を提供する、速報性に優れた図書を選定する。
- (2) 索引、図表、図版等効率的な検索のための機能の有無に留意する。
- (3) 定評のある著编者、出版社の図書を選定する。
- (4) 上記以外の選定基準は一般図書資料に準ずるものとし、継続的に受入れることを考慮して選定する。

VIII 図書以外の印刷資料

単行またはシリーズ刊行の図書以外の印刷物を「図書以外の印刷資料」とし、各分野において幅広く資料を選定し、収集するように努める。

なお、その具体的な種類は以下のとおりとする。

- (1) 雑誌
- (2) 新聞
- (3) 政府刊行物（図書以外）
- (4) 加除式資料
- (5) 地図、地形図（1枚物）
- (6) 楽譜（1枚物）
- (7) パンフレット、リーフレット
- (8) その他

1 共通事項

- (1) 図書資料では得られない情報または速報性を持つ資料に留意する。
- (2) 一般資料は日本十進分類法（NDC）の全類を対象に選定する。
- (3) 専門的、学術的な資料は必要に応じて選定する。

IX 非印刷資料

紙への文字印刷以外の方法で内容を定着させた資料を「非印刷資料」とし、各分野において幅広く資料を選定し、収集するよう努める。また、媒体は不定とする。

なお、その具体的な種類は以下のとおりとする。

- (1) 視聴覚資料（CD、DVD等）
- (2) マイクロ資料（マイクロフィルム等）

- (3) デジタル資料 (CD-ROM、DVD-ROM、BD-RE 等)
- (4) 複製絵画
- (5) 写真、絵葉書等
- (6) その他

1 共通事項

- (1) 活字資料によって得られない、調査研究に有効な情報を含む資料に留意して選定する。
- (2) すでに紙媒体で所蔵している資料であっても、紙媒体では得られない長所、特性（検索性、閲覧性の優位等）を持つ場合は収集対象とする。
- (3) 磨耗性の低い、耐久性に優れた媒体に留意する。

2 視聴覚資料

(1) 音楽・音響資料

①朗読資料は、原作に対し忠実に朗読されたものを選定する。

②音楽資料は、次により選定する。

ア 日本の古典芸能や民謡、及び世界の民族音楽は、系統的な選定に配慮する。

イ クラシック音楽は、基礎的な作品を幅広く選定する。

ウ 器楽や声楽の練習において参考となる楽曲は、代表的なものを幅広く選定する。

エ ポピュラー音楽は、利用者のニーズに配慮して選定する。

③音響・効果音資料は、福祉及び教育活動の参考となるものを優先して選定する。

(2) 映像資料

①歴史映像資料、文化・生活映像資料は、記録的価値の高いものを中心に選定する。

②劇映画は、著名な賞を受賞した資料、公的機関の推奨資料の中から選定する。

③音楽映像資料は、古典芸能、民俗芸能、クラシック音楽等から選定する。

3 マイクロ資料、デジタル資料

紙媒体での入手、保存が困難な資料、あるいは紙媒体より可読性、検索性にすぐれた資料は内容に配慮して選定する。

4 複製絵画、写真、絵葉書等

博物館・美術館等との収集の分担に留意して、選定する。

5 その他

非印刷資料においても郷土資料に留意する。収集にあたっては「郷土資料」の選定基準を適用する。

附 則

この基準は平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この基準は平成 26 年 1 月 1 日から施行し、平成 26 年 1 月 1 日から適用する。